

中期目標の達成状況報告書  
(別添資料)

徳島大学



## 目 次

別添資料 1	学びの力-汎用的技能を身につけよう-	1
別添資料 2	アドミッション・ポリシーの見直し	3
別添資料 3	学長裁量経費・革新的特色研究経費一覧	9
別添資料 4	パイロット事業支援プログラム（研究支援事業）採択事業一覧	10
別添資料 5	学長裁量経費・革新的特色研究に関する外部資金等	11
別添資料 6	パイロット事業支援プログラム（研究支援事業）採択事業に関する外部資金等	12
別添資料 7	大型外部資金獲得一覧	14
別添資料 8	平成 22～25 年度受託研究（競争的資金・3000 万）	18
別添資料 9	徳島健康・医療クラスター	19
別添資料 10	「とくしま「健幸」イノベーション構想推進地域」パンフレット	21
別添資料 11	環境防災研究センター平成 27 年度事業内容	27
別添資料 12	地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果	30
別添資料 13	地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言	32
別添資料 14	地域創生センターの活動フレーム	33
別添資料 15	那賀の特産品「はんごろし」	34
別添資料 16	ゆずばあちゃんの手焼きせんべい販売	34
別添資料 17	ミニ四国八十八カ所 水先廻りマップ作成	35
別添資料 18	物産直売「なかなか市」	35

別添資料 19	世界農業遺産認定支援事業関連資料	36
別添資料 20	四国八十八箇所霊場と運路道 世界遺産登録推進協議会	39
別添資料 21	フューチャーセンタープロジェクトの取組	40
別添資料 22	上勝学舎の取組	41
別添資料 23	徳島大学・美波町地域づくりセンターの取組	41
別添資料 24	にしあわ学舎の取組	42
別添資料 25	環境防災研究センターとの連携体制等	43
別添資料 26	環境防災研究センターの取組	44
別添資料 27	平成 27 年度タウンミーティング アンケート結果	45
別添資料 38	平成 27 年度地域連携事業成果報告書（表紙）	46
別添資料 29	フューチャーセンター『A. BA』パンフレット	47
別添資料 30	平成 27 年度にしあわ学舎報告書（抜粋）	48
別添資料 31	神山学舎の取組	52
別添資料 32	まちしごとファクトリー関連資料	53
別添資料 33	とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム概要図	56

# 社会人は、自立した学習者!!

## —社会に出てから必要となる汎用的技能—

社会で求められる人材は、単に専門的知識や技能だけではなく、新しい課題に取り組み、創造的に諸問題に立ち向かう人材です。

大学で多くのことを学びますが、それとともに“学び方”を学ぶことも必要です。そのためには、自学自習の習慣を身につけることが大切です。社会に出てから必要となる汎用的技能も自主的に学んでいきましょう。

徳島大学では、自学自習のための仕組みや教材を準備しています。これらを大いに活用してください。

### 数学・理系の基礎を学びたい

#### e-ラーニング教材が

用意されています。

コンピュータを使って、  
自習用にマイペースで学べます。

【数学、物理学、化学、生物など】

### 英語力を身につけたい

**ESR**(English Support Room)が  
開設されています。

ネイティブの先生から英語を実践的に学ぶグループです。

#### Authentic English

コンピュータを使って本格的な英語を学べます。

学術的には英語はどう使われているのか、  
何を学ばなければならないかを探ってみましょう。

### コンピュータを学びたい

全学共通教育センター、

各学部で**情報処理室**が  
整備されています。

### 学習のことで相談したい

全学共通教育センターには、

**学習支援室**が開設されています。

授業のこと、進路のことなど  
相談できます。



# “学びの力”

—汎用的技能を身につけよう—

徳島大学全学共通教育センター長 荒木 秀夫

徳島大学では、学生のみなさんが全学共通教育と学部の専門教育を通じて、大学生らしい勉強を進める上で必要な“学びの力”ともいうべき“汎用的技能”を得ることを目標に掲げています。

大学で学ぶのは4年～6年間です。徳島大学では国家資格を取得することを目指した学部学科が多くありますが、大学で学ぶ専門知識と技能だけで、本当の専門家になることはできません。企業人、科学者、技術者、医療従事者、教育者は、社会に出てから、さらに多くのことを学び続けなければならないでしょう。

社会人となれば、学校の教員のように教育を専門に担当してくれる指導者はいません。常に自分一人で学び続けることが求められます。それを促すのが汎用的技能です。社会に出てからではなく、大学生の時にこそ、しっかりと身につけるために努力しましょう。

## [ 汎用的技能とは ]

コミュニケーションの能力、論理的な思考の能力といった意思疎通をはかり、自ら主体的に倫理観を持って考えることができる社会人としての能力、そして情報化社会にあって、情報を正しく把握し、それを生かす能力、外国語を使いこなせる能力など、学習そのものの土台となる能力を指します。



全学共通教育では、汎用的技能に関連する授業は、「基盤形成科目群」と「社会性形成科目群」の科目で中心的に行われています。さらに、各学部で開かれている専門科目においても、それぞれの特性を生かした汎用的技能に関する授業科目が開かれています。みなさんの中には、なぜ自分が所属する専門の学部で、こうした授業があるのかと不思議に思う科目があるかもしれません。しかし、人間としての道徳倫理や自ら学ぶ力は、専門分野を超えた大切な学習目標です。

徳島大学での汎用的技能の学習がどのように配置されているのかをイメージし、積極的に自己研鑽に励んでください。

# “学びの力” —汎用的技能を身につけよう—

## 人間文化学科

人間と文化に関わる幅広い知識を習得し、地域社会及び国際社会で活躍できるように、人間と文化に関する講義科目や実習・演習科目を通じて、異分野の学問や文化を理解して多面的思考を獲得することにより、論理的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、情報発信能力、外国語の基本的運用能力、問題解決能力を身につけさせる。

## 社会創生学科

社会づくり・地域づくり・環境づくりに関わる幅広い知識を習得し、社会や地域社会で活躍できるように、社会づくり・地域づくり・環境づくりに関する講義科目や実習・演習科目及び主体的学習などを通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、情報処理能力、情報発信能力、問題解決能力、創造的能力を身につけさせる。

## 総合理数学科

数理科学・物質科学に関わる幅広い知識を習得し、それに基づく論理的思考能力を涵養するため、数理科学・物質科学に関する講義科目や実習・演習科目を通じて、論理的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、情報発信能力、外国語の基本的運用能力、問題解決能力を身につけさせる。

## 医学科

医学・医療に関する高度な専門知識と技能に加え、社会に通用する人材として必要な汎用性技能の習得に関する目標を以下とする。

1. 医学・医療の現状から問題点を抽出できる課題発見能力を身に付け、論理的思考力や統計データ処理などの数量的スキルを駆使することで課題を解決できる能力を身につけさせる。
2. グローバルな社会にも対応できるよう、日本語でも英語でも会話・発表・情報収集できる語学力やコミュニケーション能力を身につけさせる。
3. 卒業後も自主・自律して学習できる生涯学習力や自らを律して行動できる自己管理能力を身につけさせる。
4. 医の倫理や生命倫理など、医師としての責任はもちろん、一般社会のモラルや倫理、知的財産権の尊重など、社会人としての責任感を身につけさせる。
5. 他者の個性を認め、共通の目的を達成するために、チームの一員として協力、貢献できる能力を身につけさせる。

## 医科栄養学科

栄養英語、栄養管理学、疾患栄養学等に関連する科目を修得して、世界で発信される最新の栄養科学を学び、疾患の予防および治療に貢献できる知識・技能およびコミュニケーション能力を身につけさせる。また、病院実習、卒業研究に重点を置くことで、高度な臨床能力や問題解決能力を育成する。

## 保健学科

保健学の各専門分野で指導的役割を担う医療人として必要な基礎力を培うため、深い人間理解に基づく人との円滑な関係を築く力、的確な情報分析と論理的・科学的思考による問題解決力を修得させるとともに、高い倫理観を備え、客観的評価に基づいた臨床能力を身につけさせる。

## 歯学部

1. 講義・実習で...  
つけさせる。
2. グローバル社...

## 薬学科

薬学が関係する諸...  
高い能力を発揮...  
や語学力ととも...  
解決能力やブレ...

## 創製薬科学科

薬学が関係する諸...  
躍できるように...  
能力、またプレゼ...

## 建設工学科

社会基盤の整備...  
建造物の建設技...  
力、論理的な思考...

## 機械工学科

もの作りの幅広...  
性を涵養する実...  
ニケーション能...  
の素地を作る。

### 総合科学部

#### 【学部共通科目】

- 基礎ゼミナール(1年)
- キャリアプラン入門(1年)
- 短期インターンシップ(3年)
- 情報処理の基礎(1年)
- 国際交流・協力体験(2年)
- 基礎英語購読(2年)
- 実用外国語基礎演習(2年) ...など

### 医学科

#### 【医学入門】

- 医学入門(2年)
- 基礎医学(1)(2年)
- 基礎医学(2)(3年) ...など

### 医科栄養学科

- 基礎栄養学(2年)
- 臨床栄養学(3年) ...など

### 保健学科

- チーム医療論(1年)
- ボランティア活動(1・2年)
- 情報処理・統計学(2年)
- 人間関係論(1・2年)
- カウンセリング(2年) ...など

### 歯学科

- 医の倫理と安全管理(4年)
- 医療コミュニケーション(4年)
- 歯科英語(3年)
- 口腔と健康(1年)
- 歯学概論(1年)
- 研究基礎ゼミ(3年)

### 口腔保健学科

- 歯科衛生士概論(1年)
- 医療情報処理学(1年)
- 医療安全管理学(2年)
- オーラルヘルスプロモーション

### 全学共通教育

#### 社会形成科目群

人間力や社会性を身につける科目群

ウェルネス総合演習・共創型学習  
ヒューマン・コミュニケーション

#### 基盤形成科目群

諸科学の基本的な思考法や言

外国語  
英語／ドイツ語／フラン

の学びを通じて、社会で通用する論理的思考力、問題解決力を身に  
社会に対応できるコミュニケーション力を身につけさせる。

諸分野の連携を基盤に、臨床の場で指導的役割を担う薬剤師として  
できるように、高いモラルと倫理観を養い、コミュニケーション能力  
に、卒業研究、演習及び実務実習を通じて論理的思考に基づく問題  
プレゼンテーション能力を身につけさせる。

諸分野の連携を基盤に、創薬・製薬に関する研究者・技術者として活  
卒業研究や演習を通じて論理的思考に基づく問題解決や研究開発  
プレゼンテーション能力や語学力を身につけさせる。

維持・管理とその持続的発展に関わる基本的な能力を涵養するため、  
技術と自然環境の保全技術に関する実験や実習を通じて、問題解決能  
力、表現力、語学力を身につけさせる。

い分野を支える機械技術者としての能力を十分活用できるように、創造  
習科目を通して問題解決能力を伸ばす。また、国内外で通用するコミュ  
力の基礎を身につけさせることにより、グローバルに活躍できる技術者

### 化学応用工学科

将来、化学者・化学技術者として幅広い分野で知識と応用力を活かせるよう  
に、基礎的な実験およびプレゼンテーション科目ならびに、卒業研究・化学機  
能創生特別実験1および2といった最先端の研究科目などを通じて、自発的  
に新しい課題を発見、探求および解決できる能力を身につけさせる。

### 生物工学科

生物学分野に関する種々の問題を解決できるように、微生物や酵素を用  
いた生物学実験や演習などを通じて、課題解決や研究開発能力を身につ  
けさせる。

### 電気電子工学科

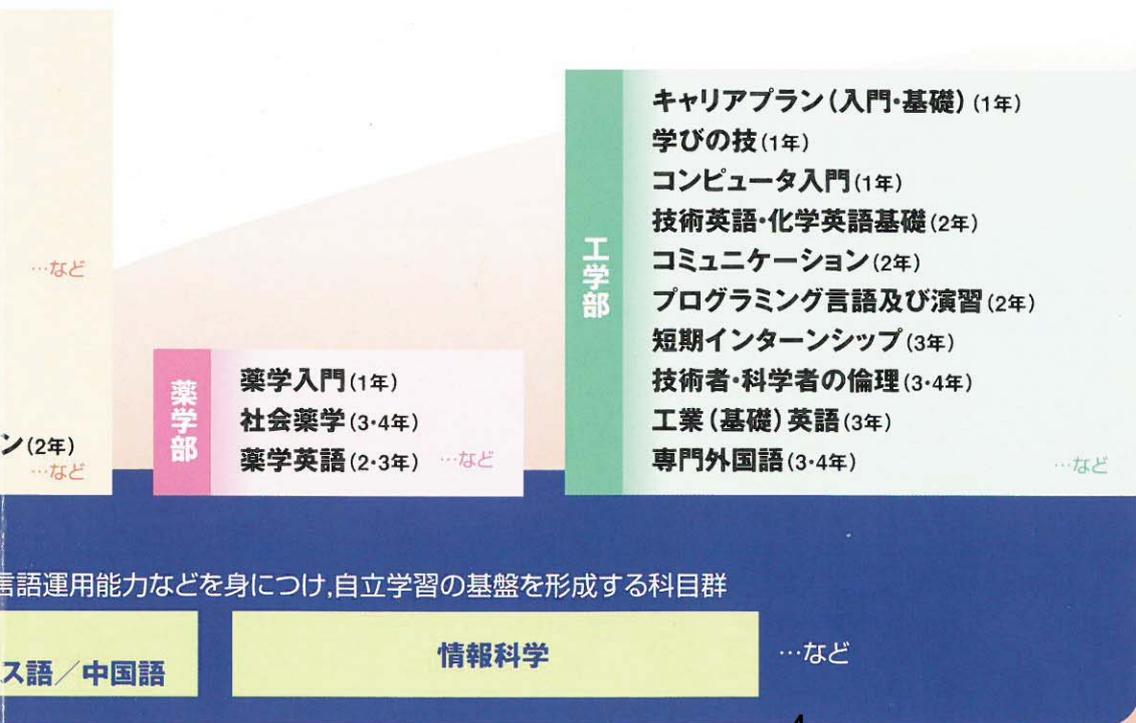
電気電子工学に関する技術者として地域社会・国際社会で活躍できるよう、  
工学基礎および電気電子工学に関する専門知識の学修を基礎とし、実験科  
目および卒業研究を通して、自ら主体的に情報を収集・処理・活用できる能  
力、専門的課題に関する問題解決能力を養成する。

### 知能情報工学科

知能情報処理技術関連分野のみならず、システム管理設計の能力を活かせ  
る各分野で幅広く活躍できるように、ハードウェアおよびソフトウェアに関  
する実験や実習などを通じて、論理的思考力、問題解決力を身につけさせる。

### 光応用工学科

光技術に関わる幅広い分野で技術者・研究者として第一線で活躍できるよ  
うに国際的に通用する素養と豊かな人間性、高い倫理観を養い、光デバイス・  
システムに関する実験・実習などを通じて自発的に新しい課題の発見およ  
び探求、解決できる能力を身につけさせる。



- 全学共通教育、学部専門教育では社会人としての倫理、プレゼンテーション能力、外国語運用能力、情報処理能力の教育を重視しています。ここに掲げた授業科目以外でも、汎用的技能は多くの授業で扱われています。
- 学科によって履修の仕方は異なりますので、詳しくは「全学共通教育履修の手引」や「シラバス」で確認してください。

表1-④-2 別添資料 アドミッション・ポリシーの見直しについて

新	
学部	<p>本学では、みなさんの多様な個性を尊重し、人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門能力と進取の気風にあふれた人材を育成することを教育方針としております。したがって、この方針に必要な基礎学力を有する人を求めています。</p>
総合科学部	<p><b>■人間文化学科</b> 日本を含む様々な国々や身近な地域の社会や文化、人間一人一人の心や身体について関心をもち、国語及び外国語の基礎学力を身につけ、人間の行動や文化を専門的に学び、関連分野へも視野を広げることのできる柔軟性と創造性に富む人を求めています。 本学科の各専門分野を学ぶために、高等学校の各教科について以下のことを身につけておいてください。 ・国語・英語 — 広く人間の行動・文化を探究するために必要となる、読解と表現(作文)に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力。 ・地歴・公民 — 世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎的な知識。 ・数学・理科 — 基礎的な内容を理解し、論理的に考える習慣</p> <p><b>■社会創生学科</b> 地域・情報・環境・政策等に関わる諸科学を学び、それらを総合して、環境と共生する望ましい社会や地域の創生に向けて貢献する人材育成を目的としています。この目的を達成するために、社会創生学科は、現代社会が抱える様々な課題に関心を持ち、持続可能な社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもった学生を求めています。 加えて、高等学校の各教科については、以下の知識・能力・資質を身につけておいてください。 ・地歴・公民・理科 — 社会環境や自然環境で起こっている現象や問題に対する理解や解決に必要な基礎知識(高等学校で履修すべきレベル) ・国語・英語 — 読解力と表現(作文)力及びコミュニケーション力 ・数学 — 基礎的な内容を理解し、論理的に考える習慣</p> <p><b>■総合理数学科</b> 総合理数学科では次の意欲を持った人を求めています。 ・自然科学の各分野を横断的にまた専門的に学ぶ意欲。 ・自然科学の諸成果が社会の中で果たすべき役割を総合的に学び、自分で問題を発見し、解決する意欲。 ・大学卒業後に、社会の発展に貢献する。または大学院でより高度な専門性を目指す意欲。 本学科において数理科学(数学、情報科学)・物質科学(物理学、化学、地球科学)の各分野を学ぶために、高等学校の各教科について以下のことを身につけておいてください。 ・数学・理科 — 基礎的な知識や技能と、自然や科学に対する関心や探求心。 ・国語・英語 — 読解力と表現(作文)力及びコミュニケーション力 ・地歴・公民 — 基礎的な知識</p>
	<p><b>■医学科</b> 生涯にわたり医療、教育、研究、保健・福祉活動を通して社会に貢献する、次のような人を求めています。 ・病める人の気持ちが理解できる温かい心をもつ臨床医をめざす人 ・医学研究並びに教育の発展に貢献する医学者をめざす人 ・医療行政、福祉の領域で国民の健康の維持・増進に尽くす人 本学科は、医学・医療を学ぶために必要な基礎学力を有することを前提に、教育目標を達成するための全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と人間性や体力をバランスよく身につけることが必要です。 大学入学までに次のような科目について身につけておくことが必要です。 数学—基礎的な知識・技能と数学的思考法 理科—物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探求心 地歴・公民の各科目—将来、医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養 国語・英語—地域社会や国際的分野において医療人として活躍するための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力</p> <p><b>■医科栄養学科</b> 『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。 疾患の病態及び治療を理解し、医学に立脚した管理栄養士をめざす人 栄養施策を企画し、国内外において社会に貢献することをめざす人 栄養学分野の研究・教育機関で活躍することをめざす人 本学科は栄養学の分野(研究者、管理栄養士、教育者など)において指導者として貢献できる人材の育成を目的としており、全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性を身につけておくことが必要です。 特に以下のものについて修得しておくことを希望します。 英語—医学・栄養学の専門的な論文を将来読み理解できるための読解力と、表現力、コミュニケーション能力 数学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、計算力と論理的な思考法。 理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探求心 その他—食生活や医療に対する関心を持ち、論理的に科学を思考する能力と姿勢</p> <p><b>■保健学科</b> 保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基にチーム医療、地域医療および国際協力に貢献できる人を求めています。 ●看護学専攻 国際化、高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生存の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。 従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。 国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力 地歴・公民—基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力 数学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力 理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力 外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力</p> <p>●放射線技術科学専攻 先進的な放射線科学及び医学の知識を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもち、さらに医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、放射線技術科学を通じ医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。 従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。 国語・外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力 地歴・公民—将来、地域や国際社会で医療人として、また良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養 数学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力 理科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力</p> <p>●検査技術科学専攻 医学並びに医療に対する関心が高く、豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために、必要な学力を有する人を求めています。 従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。 国語・外国語—地域社会や国際的分野において活躍するための基礎的なコミュニケーション能力・読解力 地歴・公民—将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養 数学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力 理科—「物理」、「化学」及び「生物」の幅広い知識と科学的な探求心</p>
	<p><b>医学部</b></p>

表1

旧		
学部	<p>本学では、みなさんの多様な個性を尊重し、人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門 能力と進取の気風にあふれた人材を育成することを教育方針としております。したがって、この方針に 必要な基礎学力を有する人を求めています。</p>	
総合科学部	<p><b>■人間文化学科</b> 日本を含む様々な国々や身近な地域の社会や文化、人間一人一人の心や身体について関心をもち、国 語および外国語の基礎学力を身につけ、人間の心や文化を専門的に学び、関連分野へも視野を広げることでできる柔軟性と創造性に富む学生を求めています。</p> <p>本学科の各専門分野を学ぶために、高等学校の各教科について以下のことを身につけておいてください。                      ー 国語・英語については、読解力と表現（作文）力はどの分野に進んでも必須のものですが、とりわけ人間の営みと文化を探究の中心に据えている人間文化学科では、この二つの力はきわめて重要です。高等学校での学習を通じてしっかり身につけておいてください。                      ー 地歴・公民については、世界および日本の日々の出来事に関心をもち、同時に、諸地域の地理・歴史についての基礎的な知識を身につけ、好奇心を育んでください。                      ー 数学・理科については、これらの教科の履修を通じて、論理的に考える習慣を身につけておいてください。</p> <p><b>■社会創生学科</b> 現代社会が抱える様々な課題に関心をもち、法律・経済、公共政策、地域、情報、環境、生命などに関する多様な学問の成果を専門的に学ぶとともに、それらを総合・融合させることによって、望ましい 社会の創生に向けて貢献する、進取の精神をもった学生を求めています。</p> <p>本学科において現代社会が抱える様々な課題に取り組むために、高等学校の各教科について以下のことを身につけておいてください。                      ー 地歴・公民・理科については、社会環境や自然環境で起こっている現象や問題に関心をもち、これらへの対応や解決に必要な基礎知識（高等学校で履修すべきレベル）を身につけておいてください。                      ー 国語・英語については、読解力と表現（作文）力およびコミュニケーション力を身につけておいてください。                      ー 数学については、基礎的な内容を理解し、論理的に考える習慣 を身につけておいてください。</p> <p><b>■総合理数学科</b> 数学を含む自然科学の基礎学力を身につけ、数理解・物質科学の各分野を専門的に 学び、その知識を基 に従来の枠組みにとらわれず、自然界における諸現象を総合的かつ論理的に学ぼうとする意欲のある学 生を求めています。</p> <p>本学科において数理解・物質科学の各分野を専門的に学ぶために、高等学校の各教科について以下のことを身につけておいてください。                      ー 数学・理科については、基礎的な知識や技能を習得するとともに、論理的な思考力を養って自然や科 学に対する関心や探求心を育んでください。                      ー 国語・英語については、読解力と表現（作文）力およびコミュニケーション力を身につけておいてください。                      ー 地歴・公民については、基礎的な知識を身につけておいてください。</p>	
	医学部	<p><b>■医学科</b> 生涯にわたり医療、教育、研究、保健・福祉活動を通して社会に貢献する、次のような人を求めています。                      ・病める人の気持ちや理解できる温かい心をもつ臨床医をめざす人                      ・医学研究並びに教育の発展に貢献する医学者をめざす人                      ・医療行政、福祉の領域で国民の健康の維持・増進に尽くす人</p> <p>本学科は、医学・医療を学ぶために必要な基礎学力を有することを前提に、教育目標を達成するための全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と人間性や体力をバランスよく身につけることが必要です。                      大学入学までに次のような科目について身につけておくことが必要です。                      ー 数学についての基礎的知識・技能と数学的思考法。                      ー 理科については、物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探求心。                      ー 地歴・公民の各科目については、将来、医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養。                      ー 国語・英語については、地域社会や国際的分野において医療人として活躍するための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力。</p> <p><b>■栄養学科</b> 『食律生命』の理念のもとに、栄養科学を通して人々の食生活を改善し、健康の保持・増進に資することができる、次のような人を求めています。                      ・医学に立脚した臨床管理栄養士をめざす人。                      ・栄養施策を企画し、国内外において社会に貢献することをめざす人。                      ・栄養学分野の研究・教育機関で活躍することをめざす人。</p> <p>本学科は栄養学分野（研究者、臨床栄養士、教育者など）において指導者として貢献できる人材の育成を目的としており、全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性を身につけておくことが必要です。特に以下のものについて修得しておくことを希望します。                      ー 英語については、将来専門的な論文を読み理解できる読解力と、表現力、コミュニケーション能力を身につける。                      ー 数学については「数学ⅠおよびⅡ」を修得し基本的な概念や原理 法則を理解する。また計算力と論理的な思考法を身につける。                      ー 理科については「生物ⅠおよびⅡ」、「化学Ⅰ」および「物理Ⅰ」を修得しておくことが望ましい。                      ー 食事や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢を身につける。</p> <p><b>■保健学科</b> 保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基にチ ャム医療、地域医療および国際協力に貢献できる人材を求めています。</p> <p>・看護学専攻 国際化、高度化する医療の発展を支える看護技術を 修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生存の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。</p> <p>従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。                      ー 国語については、文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力。                      ー 地歴・公民については、基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力。                      ー 数学については、基本的な知識 と計算力及び論理的に思考する能力。                      ー 理科については、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力。                      ー 外国語については、基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力。</p> <p>・放射線技術科学専攻 先進的な放射線科学および医学の知識を修得するために必要な数系系の基礎学力に優れ、診療放射線技師をめざす明確な目的意識をもち、さらに医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、放射線技術科学を通じ医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。</p> <p>従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。                      ー 国語・外国語については、基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力。                      ー 地歴・公民については、将来、地域や国際社会で医療人として、また良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養。                      ー 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」を修得し、基本的な知識、計算力および論理的に思考する能力を身につける。                      ・理科については、「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」を修得し、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力を身につける。</p> <p>・検査技術科学専攻 医学並びに医療に対する関心が高く、豊かな人間性をもち、コ・メディカルスタッフとして臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために、必要な基礎学力を有する人を求めています。</p> <p>従って、本専攻に入学するまでに次のものを身につけておくことを希望します。                      ー 数学については、「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」を修得し、基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力。                      ー 理科については、「生物Ⅰ」、「化学Ⅰ」及び「物理Ⅰ」の基礎的な知識と科学的な探求心。                      ー 国語・外国語については、地域社会や国際的分野において活躍するための基礎的なコミュニケーション能力・読解力。                      ー 地歴・公民については、将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養。</p>

新	
歯学部	<p><b>■歯学科</b> 生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人を求めています。 患者の立場を理解できる豊かな人間性を持つ人 歯科医療の発展のために情熱をもって貢献しようと考えている人 広い視野と論理的思考を持って行動できる人 歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人 広い領域で教養と知識があり、生涯にわたって勉強を継続できる人 歯科に関する研究に興味を持ち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人 歯科医療分野を学ぶには、総合的な基礎学力が必要ですので、高校で学んだ全領域の科目をバランスよく修得し、入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。 国語・英語―新聞や書籍(英文も含む)等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につける。 数学―高校で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。 理科―理科は物理、生物及び化学の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目についても修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学までに取り組むべき課題を提供する予定です。 地歴・公民―社会全般(高校で履修しなかった教科も含む)にわたって興味を持ち、世界的視点から日本の文化、思想、制度、歴史及び地理について考察できるようにしておく。</p> <p><b>■口腔保健学科</b> 人間的な優しさをもち、口腔保健及び福祉の専門知識と技能を身につけて健康長寿の推進に貢献できる、次のような人を求めています。 学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人 自分の考えや意見を論理的に説明できる人 歯や口の健康に興味をもち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人 高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人 本学科は口腔保健・医療・福祉を学ぶために必要な基礎学力を有することを前提に、教育目標を達成するための全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性をバランスよく身につけておく必要があります。 入学までに身につけておくべき科目等は、少なくとも次のものです。 国語―国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコミュニケーション能力を身につけておくこと。 地歴・公民―地歴・公民に広く関心を持ち、多様な価値観や世界観、考え方ができることを理解しておくこと。 数学―単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と応用力を身につけておくこと。 理科―理科の学習を通じて自然科学に深い関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておくこと。 英語―基礎的なコミュニケーション能力と読解力を身につけておくこと。</p>
薬学部	<p>薬学部の教育方針は、薬学が関係する諸分野の連携を基盤に、自らの活躍の場を積極的に開拓できる能力に溢れた人材(インタラクティブYAKUGAKUJIN)の育成です。そのため薬学部では、両学科一括入試のもとで入学させ、3年前期までは同一のカリキュラムで学ばせ、その後適性に合った進路を選択させます。したがって、徳島大学薬学部では既成観念にとらわれない柔軟な思考能力を持ち、向学心に満ち、未踏分野の開拓精神に溢れた人材を求めています。</p> <p><b>■薬学科</b> 生命科学を基盤とする多様な薬学分野において、医薬品の性質や使用に関する研究に情熱、意欲、興味を有し、薬剤師として薬学に貢献できる人を求めています。</p> <p><b>■創製薬科学科</b> 生命科学を基盤とする多様な薬学分野において、医薬品の創製に関する研究に情熱、意欲、興味を有し、創製研究者・教育者として薬学に貢献できる人を求めています。 本学部(薬学科及び創製薬科学科)では柔軟な科学的思考力を有する医療や創薬(=くすりを創る)研究に貢献できる人材の養成を行っています。 入学するまでに身につけておくのが望ましい科目・素養等は以下の通りです。 国語・英語―薬学部で学んだ知識や成果を論理的に表現し、さらにそれらを世界に発信する必要がある。従って、国語・英語の基礎的な読解力、表現力、発信力、コミュニケーション能力 理科―理系科目については、薬学を学ぶ上で基礎的な知識として、理科は化学に加え、物理と生物の両科目の履修を希望 数学―理系数学についての基本的な知識、技能と論理的思考法 その他―将来医療人や創製薬研究者として活躍するためには、上記以外の科目もおろそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。</p>
工学部	<p><b>■建設工学科</b> 「安全で安心できる生活環境」、「豊かな社会・自然」や「美しい国土」の実現にかかわる課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を育成します。そのために以下のような人を求めています。 ・建設工学に強い関心と興味と学が意欲をもつ人 ・地球的視野と協調性をもつ人 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、個々の項目の内容の理解 理科「物理Ⅰ・物理Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解 国語・英語 基礎的な学力と論理的に物事を説明できる力 その他 安全・安心な社会づくりに必要な地理、歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養</p> <p><b>■機械工学科</b> 機械工学に対する旺盛な勉強意欲及び強い興味をもち、それらを修得する基礎学力を有する人を求めています。 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、個々の項目の十分な理解 理科「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の十分な理解 国語・英語 文章読解力、作文力及びそれらを使ったコミュニケーション能力 その他 地理歴史・公民及び芸術科目を通じた教養豊かなバランス感覚</p> <p><b>■化学応用工学科</b> 化学に強い興味をもち、技術革新に積極的に対応できる基礎学力をもつ人を求めています。 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、個々の項目の内容の理解 理科「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解 国語・英語 文章読解力、作文力、コミュニケーション能力 その他 教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理、歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養</p> <p><b>■生物工学科</b> 生命工学に関わるエネルギー・食糧・環境・医療などの課題を生命の仕組みを応用する工学技術により解決する能力を育成します。そのために必要な基礎学力を備え、積極的な学習意欲をもつ以下のような人を求めています。 命現象に対する深い興味をもつ人 柔軟かつ独創的発想で課題解決に努力できる人 強い目的意識と継続的な向上心をもつ人 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、内容の理解と、それらを活かせる数学的思考力 理科「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」「生物Ⅰ・生物Ⅱ」から2科目以上における、内容の理解と科学的思考法 国語・英語 将来において国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力 その他 地理歴史・公民については、各科目における基礎的な知識及び社会現象に対する関心や探求心</p> <p><b>■電気工学科</b> 電気電子に関わるエネルギー、システム、回路、デバイス技術の課題を創造的に発見・解決する能力を育成します。そのため、上記の課題に強い興味を有し、数学、理科などの基礎学力をもつ人を求めています。 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、個々の項目の内容の理解 理科「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」または「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解 国語・英語 文章読解力、作文力、コミュニケーション能力 その他 社会現象に対する基礎知識</p> <p><b>■知能情報工学科</b> 知能情報工学科は、高度情報社会を担うためのコンピュータ技術者の人材養成という社会的要請に対応するため、急速に進展する情報科学及び情報産業において、十分適応し得るハードウェアならびにソフトウェア技術を身につけて、併せて、システム全体を大局的に把握し、知的で創造的な手法によってコンピュータを使いこなす技術者を育成します。 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、基礎的な知識と計算力、論理的思考 理科「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」、「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」から2科目以上における、基本的な原理、法則の理解とそれを適用する能力 国語・英語 文章読解力、作文力、コミュニケーション能力</p> <p><b>■光応用工学科</b> 光技術に関わる課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を育成します。そのために必要な基礎学力を備えるとともに向学心、倫理性に富む以下のような人材を求めています。 光に対する深い興味をもつ人 新しいことに挑戦できる情熱と行動力をもつ人 何が新しいのかを知るための継続的な探求心をもつ人 柔軟で独創的な発想による課題解決の方法を論理的に見出すことに努力できる人 入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。 数学「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」における、個々の項目の内容の理解 理科「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解 国語・英語 文章読解力、作文力、コミュニケーション能力 その他 創造性、広い視野、使命感を育むため、地理、歴史、公民、芸術等のそれぞれについての素養</p>

旧	
歯 学 部	<p><b>■歯学科</b> 生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の立場を理解できる豊かな人間性を持つ人。</li> <li>・歯科医療の発展のために情熱をもって貢献しようと考えている人。</li> <li>・広い視野と論理的思考を持って行動できる人。</li> <li>・歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人。</li> <li>・広い領域で教養と知識があり、生涯にわたって勉強を継続できる人。</li> <li>・歯科に關係する研究に興味を持ち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人。</li> </ul> <p>歯科医療分野を学ぶには、総合的な基礎学力が必要ですので、高校で学んだ全領域の科目をバランスよく修得しておくことが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 国語・英語については、新聞や書籍（英文も含む）等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につけておく。</li> <li>－ 数学については、高校で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。</li> <li>－ 理科については、理科は物理、生物および化学の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目についても修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学までに取り組むべき課題を提供する予定です。</li> <li>－ 地歴・公民については、社会全般（高校で履修しなかった教科も含む）にわたって興味を持ち、世界的視点から日本の文化、思想、制度、歴史および地理について考察できるようにしておく。</li> </ul> <p><b>■口腔保健学科</b> 人間的な優しさをもち、高度な技術と知識をそなえた歯科衛生士や口腔保健学の指導者をめざす、次のような人を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人。</li> <li>・自分の考えや意見を論理的に説明できる人。</li> <li>・歯や口の健康に興味を持ち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人。</li> <li>・高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人。</li> </ul> <p>本学科は口腔保健・医療・福祉を学ぶために必要な基礎学力を有することを前提に、教育目標を達成するための全人的教育を行っています。そのため、高校教育全科における基礎的な知識・技能を身につけるだけでなく、幅広い教養と道徳性をバランスよく身につけておくことが必要です。</p> <p>入学までに、身につけておくべき科目等は、少なくとも次のものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコミュニケーション能力を身につけておくこと。</li> <li>－ 地歴・公民に広く関心を持ち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておくこと。</li> <li>－ 数学については、単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と応用力を身につけておくこと。</li> <li>－ 理科の学習を通じて自然科学に深い関心を持ち、その基礎的な考え方を身につけておくこと。</li> <li>－ 英語については、基礎的なコミュニケーション能力や読解力を身につけておくこと。</li> </ul>
薬 学 部	<p>将来、生命科学を基盤とする薬学に関する研究に貢献することができる人を求めています。</p> <p><b>■薬学科</b> 医薬品の性質や使用に関する研究に情熱、意欲、興味を有し、薬剤師として生命科学を基盤とする薬学に貢献できる人を求めています。</p> <p><b>■創製薬科学科</b> 医薬品の創製に関する研究に情熱、意欲、興味を有し、生命科学を基盤とする薬学に貢献できる人を求めています。</p> <p>本学部では柔軟な科学的思考力を有する医療や創薬（＝くすりを創る）研究に貢献できる人材の養成を行っています。</p> <p>そのため、本学部に入学するまで、身につけておくのが望ましい科目・素養等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 語学科目については、薬学部で学んだ知識や成果を理論的に表現し、さらにそれらを世界に発信する必要があります。従って、国語・英語の基礎的な読解力、表現力、発信力、コミュニケーション能力を身につけて下さい。</li> <li>－ 理系科目については、薬学を学ぶ上での基礎的な知識として、理科は化学に加え、物理と生物の両科目の履修を希望します。また数学は、理系数学についての基本的な知識・技能と論理的思考力を身につけて下さい。</li> <li>－ 将来医療人や創薬研究者として活躍するためには、上記以外の科目もおろそかにせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたいと思います。</li> </ul>
工 学 部	<p>科学技術にかかわる課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を有する技術者・研究者を育成します。そのために必要な基礎学力をもつ人を求めています。</p> <p><b>■建設工学科</b> 「安全で安心できる生活環境」、「豊かな社会」や「美しい国土」の実現にかかわる課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を育成します。そのために必要な基礎学力をもつ人を求めています。</p> <p>入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、微分・積分や代数学などを中心とした数学。</li> <li>－ 理科については、力学を中心とした理科。</li> <li>－ 国語・英語については、基礎的な学力と論理的に物事を説明できる作文力。</li> <li>－ 安全・安心な社会づくりに必要な地理、歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養。</li> </ul> <p><b>■機械工学科</b> 機械工学に対する旺盛な勉学意欲および強い興味をもち、それらを修得する基礎学力を有する人を求めています。</p> <p>入学するまで、身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」における、個々の項目の十分な理解。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の十分な理解。</li> <li>－ 国語・英語については、文章読解力、作文力及びそれらを使ったコミュニケーション能力。</li> <li>－ 地理歴史・公民及び芸術科目を通しての教養豊かなバランス感覚。</li> </ul> <p><b>■化学応用工学科</b> 化学に強い興味をもち、技術革新に積極的に対応できる基礎学力をもつ人を求めています。</p> <p>入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」における、個々の項目の内容の理解。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解。</li> <li>－ 国語・英語については、文章読解力、作文力、コミュニケーション能力。</li> <li>－ 教養のある豊かな人間性を育てるために必要な地理、歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養。</li> </ul> <p><b>■生物工学科</b> バイオテクノロジーをめざし、生物工学科に強い入学意欲をもった基礎学力の高い人を求めています。</p> <p>入学するまで、身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」における、内容の理解と、それらを活かせる数学的思考力。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」、「生物Ⅰ・生物Ⅱ」から2科目以上における、内容の理解と科学的思考法。</li> <li>－ 国語・英語については、将来において国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力。</li> <li>－ 地理歴史・公民については、各科目における基礎的な知識及び社会現象に対する関心や探求心。</li> </ul> <p><b>■電気電子工学科</b> 電気電子に関わるエネルギー、システム回路、デバイス技術の課題を創造的に見つけ、解決する能力を育成します。そのために必要な意欲と、数学、理科、英語などの基礎学力を持つ人を求めています。</p> <p>入学するまで、身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、微分・積分の基本的な考え方、三角関数・指数関数・対数関数の基本的な性質、ベクトルについての基本的な概念の理解。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ」における、力と運動に関する概念や原理・法則、並びに、電気や磁気に関する基本的な概念や原理・法則の体系的な理解。</li> <li>－ 国語・英語については、文章読解力、作文力、コミュニケーション能力。</li> </ul> <p><b>■知能情報工学科</b> 知能情報工学に関する課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を育成します。そのために必要な基礎学力をもつ人を求めています。</p> <p>入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」における、基礎的な知識と計算力、論理的思考。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」、「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」から2科目以上における、基本的な原理（法則）の理解とそれを適用する能力。</li> <li>－ 文章読解力、作文力、コミュニケーション能力。</li> </ul> <p><b>■光応用工学科</b> 光技術に関わる課題を創造的に見出し、その課題を広い視野と使命感をもって解決する能力を育成します。そのために必要な基礎学力を備えるとともに向学心、倫理性に富む以下のような人材を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光に対する深い興味をもつ人。</li> <li>・新しいことに挑戦できる情熱と行動力をもつ人。</li> <li>・何が新しいのか知るための継続的な探求心をもつ人。</li> <li>・柔軟で独創的な発想による課題解決の方法を論理的に見出すことに努力できる人。</li> </ul> <p>入学するまでに身につけておくべき教科・科目等は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学Ⅳ」、「数学Ⅴ」、「数学Ⅵ」における、個々の項目の内容の理解。</li> <li>－ 理科については、「物理Ⅰ・物理Ⅱ」、「化学Ⅰ・化学Ⅱ」における、個々の項目の内容の理解。</li> <li>－ 国語・英語については、文章読解力、作文力、コミュニケーション能力。</li> <li>－ 創造性・広い視野、使命感を育てるため、地理歴史、公民、芸術等のそれぞれについての素養。</li> </ul>

## 徳島大学学長裁量経費・革新的特色研究経費一覧(平成22年度～27年度)

資料1

部局名	研究代表者名	研究プロジェクト	決定額					
			22	23	24	25	26	27
疾患プロテオゲノム研究センター	高浜 洋介 松本 満	徳島大学免疫自己システム研究プログラム				5,600	5,500	3,000
大学院ソシオテクノサイエンス研究部	木内 陽介 岡久 稔也	LEDライフフォトニクス				7,000	7,000	3,500
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)	野間 隆文 堀川 一樹	再生医学研究プラットフォームの構築と臨床応用への展開				5,000	5,000	2,500
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	南川 典昭 大高 章	徳大薬学部創薬シーズの整備と蔵本ネットワークを基盤としたアカデミア創薬研究				5,000	5,000	2,500
ソシオ・アーツ・アント・サイエンス研究部	服部 武文 横井川 久己男	マツタケ香形成を指標にしたきのこ形成機構の解明				7,000	7,000	3,500
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	松本 俊夫 親泊 政一	エピゲノムと臓器ネットワーク解析で迫る次世代糖尿病研究				6,000	6,000	3,000
疾患プロテオゲノム研究センター	親泊 政一	糖尿病及びその関連疾患克服	10,000	9,000	9,000			
大学院ソシオテクノサイエンス研究部	木内 陽介	LEDによるライフ・イノベーション	8,096	9,000	9,000			
疾患プロテオゲノム研究センター	高浜 洋介	分子イメージング手法を導入した免疫疾患克服			9,000			
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)	林 良夫		2,500	9,000				
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	松本 俊夫	抗老化のための栄養科学と骨疾患克服	7,300	9,000	9,000			
計			27,896	36,000	36,000	35,600	35,500	18,000

別添資料4

採択年度	研究区分	部局名	研究代表者名	研究課題名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
26	未来発達型	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	准教授 野間口 雅子	HIV/SIVの比較ウイルス学: HIV-1への進化に関する実験的解析					2,000	
26	未来発達型	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 難波 康祐	アルカリ性不良土壌の緑地化に関する分子科学的研究					3,000	2,000
26	未来発達型	大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 櫻谷 英治	生物機能を活用した有用脂質生産の基盤技術開発					3,000	2,000
26	未来発達型	疾患群素学研究センター	教授 立花 誠	エピジェネティック制御によるマウス性決定遺伝子の発現制御機構					3,000	2,000
26	未来発達型	藤井節郎記念医科学センター	特任助教 竹本 龍也	胚に対応した培養細胞を活用した初期細胞運命決定の遺伝子制御ネットワークの解明					3,000	2,000
26	未来発達型	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)	准教授 工藤 保誠	ユビキチン分解ネットワークによるDNAを一度だけ正確に複製する機構の解明					3,000	2,000
26	若手科研究費	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	助教 上番増 喬	胎生期の母親の腸内環境が出生後の生活習慣病発症に及ぼす影響の解明					1,000	
26	若手科研究費	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	助教 黒部 裕嗣	CABG用小口径生体吸収性動脈グラフトの開発～3Dプリンターを活用して～					2,000	
25	未来発達型研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	講師 志 内 哲也	摂食リズムの破綻による生体恒常性の変化と臓器間代謝ネットワークの解明				2,500	2,772	2,000
25	未来発達型研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部	助教 坂根 亜由子	神経機能異常やがん転移につながる分子輸送・細胞骨格の時空間制御の破綻を新規制御蛋白質系の構造変化から解く				3,000	2,565	2,000
25	未来発達型研究	疾患群素学研究センター	准教授 内山 圭司	ブリストン感染によるポストゴルジ小胞輸送障害および神経細胞死誘導機構の解明				3,000	2,470	2,000
25	未来発達型研究	疾患プロテオゲノム研究センター	准教授 岡崎 一美	単一細胞遺伝子発現解析による新規機能性細胞集団の特定と解析				3,000	2,009	2,000
25	国際共同研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 柏田 良樹	天然薬物資源アクセスのためのグローバルネットワーク構築とそれに基づく創薬研究への展開				2,000		
25	特色研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)	教授 田中 栄二	ゲノム編集技術を基盤とする疾患の病態解明と画期的治療法開発研究拠点整備				6,000	4,070	3,500
24	未来発達型	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	助教 近久 幸子	胎内環境ホメオスタシスの崩壊が代謝・脳機能に及ぼす影響		3,500	2,800	2,743		
24	未来発達型	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 斎藤 博幸	ナノバイオ医薬品をターゲットとしたレギュラトリーサイエンス研究基盤の構築		3,000	2,800	2,415		
24	未来発達型	疾患プロテオゲノム研究センター	教授 峯岸 克行	病態プロテオゲノム研究の始動と推進		4,000	4,200	2,647		
24	国際共同	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	教授 安友 康二	疾患克服と予防を目指したインビボ実験医学の日韓共同研究		2,000				
24	国際共同	大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 森實 俊広	地熱・熱水資源の有効利用に向けた材料化学及び化学工学的国際共同アプローチ		3,500				
24	特色研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 大高 章	アカデミア創薬研究教育拠点形成に向けた基盤整備事業		4,000	2,700	2,309		
23	未来発達型研究	疾患群素学研究センター	准教授 小迫 英尊	プロテオミクスを利用したキナーゼターゲットの網羅的同定と生理機能の解明		7,000	4,000	4,300		
23	未来発達型研究	疾患ゲノム研究センター	教授 片桐 豊雅	次世代型高速シーケンサーを用いた難治性疾患関連遺伝子の同定およびその機能解析		7,000	4,000	4,200		
23	国際共同研究	大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 西尾 芳文	非線形回路ネットワークを利用した画像圧縮アルゴリズムの開発		2,500				
23	国際共同研究	"	教授 野地 澄晴	ヒトトランスジェニックコオロギを利用したヒト遺伝子機能の解明のための国際共同研究		2,500				
23	特色研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 伊藤 孝司	ネオバイオメディシンの開発と創薬・医療への応用		5,000	3,000	3,000		
22	未来発達型研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)	教授 田中 栄二	RNA干渉法による疾患関連遺伝子機能解析と治療法の開発	6,000	4,000	4,000			
22	未来発達型研究	大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 大政 健史	細胞内蛋白質の品質管理機構の解明と蛋白質医薬品生産への応用	5,900	4,000	4,000			
22	国際共同研究	大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 野地 澄晴	ヒトトランスジェニックコオロギを利用したヒト遺伝子機能の解明のための国際共同研究	3,600					
22	国際共同研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	教授 六反 一仁	心の疾患の予知・予防を目指す日韓共同研究	3,000					
22	国際共同研究	大学病院	講師 川人 伸次	糖尿病合併症の発症・進展阻止のための低温反応性アルブミン除去アフェレシス療法の開発	1,700					
22	特色研究	大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部	教授 今井 昭二	四国源流域における水と緑と食のグリーン・イノベーション	2,600	2,500	1,500			
22	特色研究	大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	准教授 石田 竜弘	オキサリプラチン含有リポソーム医薬品化研究	3,300	3,500	3,500			
21		大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系)	教授 玉置 俊晃	食品・栄養機能を基盤とする血管機能維持の予防医学研究	5,000	4,000				
21		大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授 中村 嘉利	高温高圧水熱処理を用いたセルロース系バイオマスリファイナリープロセスの開発	4,000	4,000				
21		疾患群素学研究センター	教授 松本 満	新規遺伝子改変マウスの作出による疾患病態研究	6,000	4,000				
20		大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系)	教授 伊藤 孝司	細胞の分化・脱分化制御に関わる「くすり」の探索～再生医療への薬学的アプローチ～	5,000					
20		疾患ゲノム研究センター	教授 親泊 政一	疾患ゲノム研究の始動と推進	6,000					
計					52,100	50,000	44,000	43,500	44,000	21,500

徳島大学学長裁量経費・革新的特色研究に関する外部資金等

資料3

区分	種類	省庁名・事業名等	課題名	部署名・職名	氏名	申請額	採択(契約)額	期間
採択(継続)	競争	科学研究費補助金 基盤研究(A)	獲得免疫システムを特徴づける胸腺微小環境の分子基盤	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	9,000,000 (36,900,000)	9,000,000 (36,900,000)	24年度 (23年度～26年度)
採択	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	免疫四次元空間ダイナミクス	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	10,000,000 (35,000,000)	8,000,000 (26,800,000)	24年度 (24年度～28年度)
採択	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺微小環境の機能解明と構築	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	40,000,000 (200,000,000)	37,200,000 (160,600,000)	24年度 (24年度～28年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	免疫四次元空間ダイナミクス	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	7,200,000 (26,800,000)	7,200,000 (26,800,000)	25年度 (24年度～28年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺微小環境の機能解明と構築	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	30,800,000 (160,600,000)	30,800,000 (160,600,000)	25年度 (24年度～28年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(A)	獲得免疫システムを特徴づける胸腺微小環境の分子基盤	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	9,000,000 (36,900,000)	9,000,000 (36,900,000)	25年度 (23年度～26年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺微小環境の機能解明と構築	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	31,000,000 (160,600,000)	31,000,000 (160,600,000)	26年度 (24年度～28年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(A)	獲得免疫システムを特徴づける胸腺微小環境の分子基盤	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	9,000,000 (36,900,000)	9,000,000 (36,900,000)	26年度 (23年度～26年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺微小環境の機能解明と構築	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	高濱 洋介	30,800,000 (160,600,000)	30,800,000 (160,600,000)	27年度 (24年度～28年度)
採択	競争	(独)科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業(CREST)【炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基礎衛生学の創出】領域」	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	205,000,000	205,000,000	23～28年度
採択(継続)	競争	(独)科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST)」	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	50,440,000	24年度
採択(継続)	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺髄質上皮細胞分化機構の解明	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	5,000,000 (10,000,000)	24年度 (23年度～24年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	根本的治療法確立のための遺伝性自己免疫疾患の病態解明	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	7,000,000 (20,000,000)	5,300,000 (14,200,000)	25年度 (25年度～27年度)
契約(継続)	受託	(独)科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST)」	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	46,930,000	25年度
契約(継続・増額)	受託	(独)科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST)」	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	7,930,000	25年度
採択	競争	経済産業省・平成25年度 課題解決型医療機器等開発事業	難治性腹水の外来治療を可能とするモバイル型腹水濾過濃縮装置の開発	病院・講師	岡久 稔也(分担)	99,651,600	104,830,000	25～27年度
採択	競争	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構・平成27年度 中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業	マルチリング方式を用いた超小胸腺水濾過濃縮装置の開発	医歯薬学研究所(医学系)・特任教授	岡久 稔也(分担)	10,024,964	27～28年度 18,732,764	27～28年度
採択	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	マクロファージの異常な活性化に起因する慢性炎症発症機序の解明	HBS(医学系)・特任教授	堀川 一樹	5,000,000 (10,000,000)	4,000,000 (8,200,000)	25年度 (25年度～26年度)
採択	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	ケミカルデバイスを利用したsiRNAによって誘起される分子反応の発現機構解明	HBS(薬学系)・教授	南川 典昭	3,000,000 (5,600,000)	2,900,000 (5,600,000)	24年度 (24年度～25年度)
採択	競争	科学研究費補助金 基盤研究(B)	shRNA持続発現型人工ミミズスミドによるRNAi創薬の新展開	HBS(薬学系)・教授	南川 典昭	10,000,000 (20,000,000)	7,600,000 (14,500,000)	24年度 (24年度～26年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	iRed/iPedの完全化学合成を基軸とした実践的対がん創薬基盤研究	医歯薬学研究所(薬学系)・教授	南川 典昭	10,470,000 (19,970,000)	7,300,000 (13,300,000)	27年度 (27年度～29年度)
契約	共同	富田製薬株式会社	核酸を用いた創薬の研究開発	HBS(薬学系)・教授	南川 典昭	—	5,961,600	26～28年度
採択	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	分子標的探索のための化学選択的修飾部位内在型リンカーの開発	HBS(薬学系)・教授	大高 章	3,000,000 (5,990,000)	2,600,000 (5,300,000)	24年度 (24年度～25年度)
採択	競争	科学研究費補助金 基盤研究(B)	創薬基盤確立に向けた効率的な人工タンパク質化学合成法の開拓	HBS(薬学系)・教授	大高 章	8,300,000 (19,830,000)	6,300,000 (14,200,000)	24年度 (24年度～26年度)
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成24年度 研究助成	高選択的タンパク質ラベリング試薬の開発	HBS(薬学系)・教授	大高 章	5,000,000	5,000,000	24年度
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(D)	骨格系の分子制御機構の解明とその異常による病態の治療法の開発	HBS(医学系)・教授	松本 俊夫	7,000,000 (20,000,000)	5,300,000 (14,200,000)	25年度 (25年度～27年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(D)	小脳ストレス応答因子ATF6βによる生体機能制御とその破綻による疾患発症の解明	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	親泊 政一	6,050,000 (20,000,000)	4,300,000 (13,200,000)	25年度 (25年度～27年度)
採択	競争	日本医療研究開発機構・創業支援推進事業－創業総合支援事業(創業ブースター)－における支援	小脳ストレスを軽減する化学シャペロンによる糖尿病治療薬の探索－ツール化合物を用いたコンセプトの検証	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	親泊 政一	16,437,999	16,433,951	27年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	Ⅲ糖尿病と糖尿病性大血管合併症の新規治療法の開発 ③-1:2型糖尿病の発症抑制法開発研究	疾患グノム研究センター・教授	親泊 政一	—	20,834,000	22年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	Ⅲ糖尿病の新規治療法の開発	疾患グノム研究センター・教授	親泊 政一	—	20,500,000	23年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	Ⅲ糖尿病の新規治療法の開発	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	親泊 政一	—	23,000,000	24年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 公益財団法人とくしま産業振興機構	Ⅲ糖尿病の新規治療法の開発	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	親泊 政一	—	18,832,000	24年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 公益財団法人とくしま産業振興機構	Ⅲ糖尿病の新規治療法の開発	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	親泊 政一	—	26,600,000	25年度
契約	受託	大塚製薬株式会社	シェーグレン症候群モデルマウスにおけるレバミピド点眼液の治療効果に関する研究	HBS(歯学系)教授	林 良夫	—	11,960,000	22～23年度

## 徳島大学パイロット事業支援プログラム(研究支援事業)採択事業に係る外部資金等

## 資料4

区分	種類	省庁名・事業名等	課題名	部局名・職名	氏名	申請額	採択(契約)額	期間
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成27年度 研究助成金	Palau'amineをリードとした新規免疫抑制化合物の創製研究	医歯薬学研究所(薬学系)・教授	難波 康祐	5,000,000	5,000,000	27年度
契約	共同	株式会社 オーラルケア	新規蛍光分子1,3a,6a-トリアザペントレンを基盤とする歯周病簡易検査キットの開発	医歯薬学研究所(薬学系)・教授	難波 康祐	—	20,000,000	27年度
採択	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	H3K9脱メチル化エビゲノムによる生殖細胞の機能制御	疾患酵素学研究所・教授	立花 誠	4,000,000 (8,000,000)	4,000,000 (8,000,000)	26年度 (26年度～27年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(A)	ほ乳類のエビゲノム性差とその構築因子の機能の解明	疾患酵素学研究所・教授	立花 誠	20,000,000 (50,000,000)	13,100,000 (31,100,000)	26年度 (26年度～28年度)
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(A)	ほ乳類のエビゲノム性差とその構築因子の機能の解明	疾患酵素学研究所	立花 誠	—	9,000,000 (31,100,000)	27年度 (26年度～28年度)
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成26年度 研究助成	ヒストン脱メチル化酵素による生殖細胞の機能制御	疾患酵素学研究所・教授	立花 誠	5,000,000	5,000,000	26年度
採択(継続)	競争	科学研究費助成事業 若手研究(A)	胚の体幹部を形成する体軸幹細胞の制御システム	藤井節郎記念医科学センター・助教	竹本 龍也	—	6,100,000 (21,100,000)	26年度 (24年度～26年度)
採択	助成	(公財)三菱財団・第45回(平成26年度)三菱財団自然科学研究助成	胚の体幹部組織を産み出す体軸幹細胞のWntシグナル強度に応じた維持と分化の制御機構	藤井節郎記念医科学センター・特任助教	竹本 龍也	8,000,000	7,000,000	26年度
採択	助成	(公財)住友財団・2014年度 基礎科学研究助成	1細胞標識と長時間培養によるマウス初期胚細胞系譜解析	藤井節郎記念医科学センター・特任助教	竹本 龍也	5,000,000	1,500,000	26年度
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成26年度 研究助成	ユビキチン分解によるDNA複製ライセンス化機構の解明	HBS(歯学系)・准教授	工藤 保誠	5,000,000	5,000,000	26年度
採択	競争	科学研究費助成事業 若手研究(A)	代謝シグナルの流れにより変化するエビゲノムと生活習慣病の関連性の解明	医歯薬学研究所(医学系)・助教	上番増 喬	11,100,000 (30,000,000)	6,600,000 (17,900,000)	27年度 (27年度～30年度)
採択	競争	厚生労働省・日本医療研究開発機構研究費・医療機器開発推進研究事業	生体内分解性素材を用いた国際治療デバイスの開発-経カテーテルの心房中隔欠損孔閉鎖デバイスの開発-	HBS(医学系)・助教	黒部 裕嗣	59,800,000	47,840,000	27年度
採択	競争	(独)科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(さきがけ)「生体における動的恒常性維持・変容機構の解明と制御」領域	中核・末梢・時間を統合した代謝生理学的ネットワーク機能の解明	HBS(医学系)・講師	志内 哲也	40,000,000	平成25年度 10,920,000	25～29年度
採択	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	集団的細胞運動を支える細胞内小胞輸送とアクチン細胞骨格再編成のクロストーク制御	HBS(医学系)・助教	坂根 亜由子	4,000,000 (8,000,000)	3,500,000 (7,000,000)	25年度 (25年度～26年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	頭蓋顔面領域高頻度疾患の原因究明から病態発症機序解明への最先端研究戦略	HBS(歯学系)・教授	田中 栄二	8,500,000 (20,000,000)	5,600,000 (12,500,000)	26年度 (26年度～28年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	アポリポタンパク質によるHDL産生・代謝調節機構の物理化学的基盤解明と創薬展開	HBS(薬学系)・教授	斎藤 博幸	5,930,000 (18,530,000)	4,600,000 (13,600,000)	25年度 (25年度～28年度)
採択(継続)	競争	厚生労働省「厚生労働科学研究費補助金」難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)	先天性免疫不全症候群の病態解明と予後改善に関する研究	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	峯岸 克行	31,200,000 (53,400,000)	28,080,000 平成25年度	25年度 (24～25年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	STAT3の遺伝子変異により発症するアレルギーの病態形成機構の解明	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	峯岸 克行	7,400,000 (20,000,000)	5,600,000 (14,200,000)	25年度 (25年度～27年度)
採択	競争	厚生労働省・平成26年度厚生労働科学研究・疾病・障害対策分野(難治性疾患等実用化研究事業)	アトピーと骨粗鬆症を発症する難病の病態解明と新規治療法開発	疾患プロテオゲノム機能センター・教授	峯岸 克行	¥90,000,000	平成26年度 39,000,000	26～28年度
採択	競争	厚生労働省・日本医療研究開発機構研究費・難治性疾患実用化研究事業	高IgE症候群の病因・病態解明と新規治療法開発	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	峯岸 克行	¥40,000,000	¥27,300,000	27年度
契約	受託	独立行政法人 科学技術振興機構	ヒト遺伝性アレルギー疾患「高IgE症候群」の発症機構の解明とその制御	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	峯岸 克行	—	6,500,000	24年度
契約(継続)	受託	(独)科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST)	ヒト遺伝性アレルギー疾患「高IgE」症候群の発症機構の解明とその制御	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	峯岸 克行	—	13,000,000	25年度
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成24年度 研究助成	遺伝性免疫疾患の原因遺伝子同定研究	HBS(医学系)・教授	安友 康二	5,000,000	5,000,000	24年度
採択	助成	(公財)上原記念生命科学財団・平成24年度 研究助成	高選択的タンパク質ラベリング試薬の開発	HBS(薬学系)・教授	大高 章	5,000,000	5,000,000	24年度
採択	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	プロテオミクスを用いたFGヌクレオポリンのリン酸化による核膜孔制御の解明	疾患酵素学研究所・准教授	小迫 英尊	4,980,000 (9,960,000)	4,300,000 (8,700,000)	24年度 (24年度～25年度)
採択	競争	文部科学省「次世代がん研究戦略推進プロジェクト」次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	乳がんにおける新規O-結合型糖転移酵素の基質特異性の解明と革新的創薬研究	疾患ゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	56,870,000	平成23年度分 6,000,000	23～27年度
採択(継続)	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	新規エストロゲン依存性乳癌細胞増殖機構のシステム的統合理解	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	—	8,000,000 (16,000,000)	24年度 (23年度～24年度)
採択(継続)	競争	文部科学省「次世代がん研究戦略推進プロジェクト」次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム	「がん関連遺伝子産物の転写後発現調節を標的とした治療法の開発(乳がんにおける新規O-結合型糖転移酵素の基質特異性の解明と革新的創薬研究)」	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	—	10,500,000	24年度
採択	競争	文部科学省・平成25年度 オーダーメイド医療の実現プログラム(第3期)	新規乳がん関連遺伝子の同定と機能解析を通じた個別化医療のための病態診断法の確立	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅 (分担)	25,000,000	(平成25年度) 5,000,000	25～29年度
採択	競争	科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)	内分泌療法耐性乳癌克服に向けた新規エストロゲンシグナル制御のシステム的統合理解	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	7,000,000 (14,000,000)	4,400,000 (9,300,000)	25年度 (25年度～26年度)
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	新規エストロゲン受容体活性制御分子の生体機能解明と創薬研究	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	7,400,000 (20,000,000)	5,200,000 (13,200,000)	25年度 (25年度～27年度)
契約	受託	文部科学省 平成23年度科学技術試験研究委託事業「ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療」	ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療(乳がん関連遺伝子の同定とその機能解析)	疾患ゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	—	5,000,000	23年度
契約	受託	文部科学省・科学技術試験研究委託事業・次世代がん研究戦略プロジェクト	がん関連遺伝子産物の転写後発現調節を標的とした治療法の開発(乳がんにおける新規O-結合型糖転移酵素の基質特異性の解明と革新的創薬研究)	疾患ゲノム研究センター	片桐 豊雅	—	5,500,000	23年度
契約	受託	文部科学省・科学技術試験研究委託事業・次世代がん研究戦略プロジェクト	がん関連遺伝子産物の転写後発現調節を標的とした治療法の開発(乳がんにおける新規O-結合型糖転移酵素の基質特異性の解明と革新的創薬研究)	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	—	11,000,000	25年度
契約	共同	オンコセラピー・サイエンス株式会社	抗癌剤開発のための新たな癌関連遺伝子(産物)の単離	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅	—	5,000,000	24年度

契約	共同	オンコセラピー・サイエンス株式会社	抗癌剤開発のための新たな癌関連遺伝子(産物)の単離	疾患プロテオゲノム研究センター・教授	片桐 豊雅		30,000,000	26年度
採択	助成	(財)とくしま産業振興機構・とくしま経済飛躍ファンド事業助成金(中小企業を支援する団体等が行う事業)	病理・研究関連産業分野支援事業	STS教授	野地 澄晴	10,000,000	8,000,000	23年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	II 糖尿病および関連疾患の診断法および検査・診断装置の開発 ②-1: 遺伝子レベルのマーカークラスター探索法の開発と高感度シグナル増幅法の開発	STS教授	野地 澄晴	—	24,724,000	22年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	II 糖尿病および関連疾患の診断法および検査・診断装置の開発	STS研究部・教授	野地 澄晴	—	18,000,000	23年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	II 糖尿病および関連疾患の診断法および検査・診断装置の開発	本部・理事	野地澄晴	—	18,000,000	24年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 公益財団法人とくしま産業振興機構	II 糖尿病および関連疾患の診断法および検査・診断装置の開発	本部・理事	野地澄晴	—	5,940,000	24年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 公益財団法人とくしま産業振興機構	II 糖尿病および関連疾患の診断法および検査・診断装置の開発	本部・理事	野地澄晴	—	16,315,000	25年度
契約	受託	(独)医薬基盤研究所・保健医療分野における基礎研究推進事業	立体構造変化に基づくGM2ガングリオシドーシス新規治療薬の開発	HBS(薬学系)教授	伊藤 孝司	—	20,000,000	23年度
契約	受託	独立行政法人医薬基盤研究所	高機能複合型新規リソソーム病治療薬の開発 立体構造変化に基づくGM2ガングリオシドーシス新規治療薬の開発	HBS(薬学系)・教授	伊藤 孝司	—	10,000,000	24年度
契約	受託	独立行政法人農業生物資源研究所	治療用的高機能型ヒト酵素および酵素増強化合物の開発と評価	HBS(薬学系)・教授	伊藤 孝司	—	16,000,000	24年度
契約(継続)	受託	(独)医薬基盤研究所・先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	立体構造変化に基づくGM2ガングリオシドーシス新規治療薬の開発	HBS(薬学系)・教授	伊藤 孝司	—	15,000,000	25年度
採択	競争	科学研究費助成事業 基盤研究(B)	頭蓋顔面領域高頻度疾患の原因究明から病態発症機序解明への最先端研究戦略	HBS(歯学系)・教授	田中 栄二	8,500,000 (20,000,000)	5,600,000 (12,500,000)	26年度 (26年度～28年度)
契約	受託	独立行政法人医薬基盤研究所	Ex3産生細胞の樹立と調製	STS教授	大政健史	—	11,000,000	23年度
契約	受託	独立行政法人医薬基盤研究所	Ex3産生細胞の樹立と調製	STS・教授	大政健史	—	9,500,000	24年度
採択	競争	科学研究費補助金 基盤研究(B)	腫瘍内微小環境の能動的制御に基づく革新的DDSの開発とがん治療への展開	HBS(薬学系)・教授	石田 竜弘	8,060,000 (19,690,000)	6,200,000 (14,200,000)	24年度 (24年度～26年度)
採択(継続)	競争	科学研究費補助金 若手研究(A)	昆虫型マイクロロボットによる高自由度・長距離・小径曲がり穴放電加工システムの開発	STS 教授	石田 徹	—	7,500,000 (14,300,000)	24年度 (22年度～25年度)
契約(継続)	共同	大鵬薬品株式会社	抗がん剤リポソーム製剤化検討	HBS(薬学系)・准教授	石田 竜弘	—	11,000,000	25年度
採択	競争	独立行政法人 日本学術振興会 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム	疾患ニュートロームを基盤とした加齢による循環器障害研究の国際ネットワーク構築	HBS(医学系)・教授	玉置 俊晃	76,670,000	H23年度 16,830,000	23～25年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	IV 糖尿病および関連疾患の発症・進展を防ぐ食品・医薬品素材の開発研究 ④-2: 肥満および糖尿病を克服するための医薬品素材開発研究	HBS(医学系)教授	玉置 俊晃	—	51,782,000	22年度
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	IV 糖尿病および関連疾患の発症・進展を防ぐ食品医薬品素材の開発研究	HBS(医学系)・教授	玉置 俊晃	—	39,600,000	23年度
採択(継続)	競争	林野庁	高付加価値型製造システム:水蒸気爆砕法樹脂製造タイプ	STS研究部・教授	中村嘉利	—	42,100,408	24年度
契約	受託	林野庁・森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業	水蒸気爆砕法による木質バイオマスリファイナリシステムの確立	STS教授	中村 嘉利	—	45,000,000	22年度
契約	受託	林野庁	水蒸気爆砕法による木質バイオマスリファイナリシステムの確立	STS研究部・教授	中村 嘉利	—	39,447,000	23年度
採択	競争	(独)科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業(CREST)【炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基礎擬生術の創出】領域」	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	205,000,000	205,000,000	23～28年度
採択(継続)	競争	(独)科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業チーム型研究(CREST)	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	50,440,000	24年度
採択(継続)	競争	科学研究費補助金 新学術領域研究(研究領域提案型)	胸腺髄質上皮細胞分化機構の解明	疾患酵素学研究センター・教授	松本 満	—	5,000,000 (10,000,000)	24年度 (23年度～24年度)
契約	受託	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム(グローバル型) 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構	III 糖尿病と糖尿病性大血管合併症の新規治療法の開発 ③-1: 2型糖尿病の発症抑制法開発研究	疾患ゲノム研究センター教授	親泊 政一	—	20,834,000	22年度

## 研究・産学連携

TOP > 研究・産学連携 > 外部資金による主な研究活動

### 研究・産学連携

徳島大学の研究戦略

外部資金による主な研究活動

#### 大型外部資金研究プロジェクト

全国共同利用・共同研究拠点

研究者情報

科学研究費補助金採択状況

外部資金の受入状況

競争的資金に関する不正への対応

徳島大学職員への業務依頼

### 大型外部資金研究プロジェクト

本学の研究者が獲得した大型外部資金（年間3千万円以上）の研究プロジェクトをご紹介します。

#### 平成27年度

##### 大学院医歯薬学研究部（医学系） 教授 安友 康二

事業名等	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基盤技術の創出」研究領域 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	稀少遺伝性炎症疾患の原因遺伝子同定に基づく炎症性漁法の開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a>

##### 大学院医歯薬学研究部（医学系） 教授 苛原 稔

事業名等	日本医療研究開発機構研究費 成育疾患克服等総合研究事業(01) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	生殖補助医療により出生した児の長期予後と技術の標準化に関する研究
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(543KB)</a>

##### 大学院医歯薬学研究部（医学系） 助教 黒部 裕嗣

事業名等	日本医療研究開発機構研究費 医療機器開発推進研究事業 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
研究課題名	生体内分解性素材を用いた国産治療デバイスの開発－経カテーテルの心房中隔欠損孔閉鎖デバイスの開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(212KB)</a>

##### 大学院ソシオテクノサイエンス研究部・教授 安井 武史

事業名等	国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 総括実施型研究ERATO
研究課題名	ERATO美濃島知的光シンセサイザプロジェクト
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a> <a href="#">(English)</a>

##### 大学院ソシオテクノサイエンス研究部・客員教授 大政 健史(PL)、教授 宇部 義浩(徳島分室代表)

事業名等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発
研究課題名	生産細胞構築技術の開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(429KB)</a>

##### 疾患酵素学研究センター 教授 松本 満

事業名等	文部科学省 革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「炎症の慢性化機構の解明と制御に向けた基盤技術の創出」研究領域
研究課題名	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(165KB)</a> <a href="#">研究室ホームページ</a>

##### 疾患酵素学研究センター 特任教授 木戸 博

事業名等	厚生労働省 日本医療研究開発機構研究費 感染症実用化研究事業 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題名	乳幼児に適用可能な安全性と有効性の高いSF-10アジュバントによるインフルエンザ・RSV感染防御免疫誘導
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(203KB)</a>

疾患酵素学研究センター 特任教授 木戸 博

事業名等	文部科学省 医療研究開発推進事業費補助金（橋渡し研究加速ネットワークプログラム）事業
研究課題名	有効で安全な生体成分粘膜炎アジュバントSF-10による経鼻接種インフルエンザワクチン開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(246KB)</a>

疾患プロテオゲノム研究センター 教授 高濱 洋介

事業名等	文部科学省 科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域提案型）
研究課題名	胸腺微小環境の機能解明と構築
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a> <a href="#">(研究の興味と内容)</a>

疾患プロテオゲノム研究センター 教授 岡崎 拓

事業名等	文部科学省 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業
研究課題名	多機能複合分子標的物質の作製による細胞運命創作技術の開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a>

糖尿病臨床・研究開発センター 特任教授 松久 宗英

事業名等	厚生労働省 日本医療研究開発機構研究費 臨床研究等ICT基盤構築研究事業
研究課題名	EHRを活用した臨床データベースによる糖尿病重症化・合併症発症リスク診断支援プログラムの開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(1MB)</a>

過去の実績

[平成26年度](#)

最終更新日：2015年12月2日

[ページの先頭へ戻る](#)

[| 大学紹介](#) | [学部・大学院・病院](#) | [附属施設・図書館](#) | [研究・産学連携](#) | [地域連携](#)・[国際交流](#) | [教育・学生生活](#) | [就職・進路](#) | [入試案内](#) |

[| このサイトについて](#) | [採用情報](#) | [リンク集](#) | [プライバシーポリシー](#) | [RSS2.0](#) | [資料請求](#) | Powered by Joruri 

徳島大学（事務局） 〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 電話番号 088-656-7000（代表）

Copyright©2011 Tokushima University All Rights Reserved.

| 文字サイズ |

| 背景色 |

[トップ](#)
[交通アクセス](#)
[キャンパスマップ](#)
[サイトマップ](#)
[お問い合わせ](#)

[大学紹介](#)
[学部・大学院・病 附属施設・図書館](#)
[研究・産学連携](#)
[地域連携・国際交](#)
[教育・学生生活](#)
[就職・進路](#)
[入試案内](#)

## 研究・産学連携

TOP > [研究・産学連携](#) > [外部資金による主な研究活動](#) > [平成26年度 大型外部資金研究プロジェクト](#)

### 研究・産学連携

### 平成26年度 大型外部資金研究プロジェクト

徳島大学の研究戦略

((注)は平成25年度終了分)

外部資金による主な研究活動

本学の研究者が獲得した大型外部資金（年間3千万円以上）の研究プロジェクトをご紹介します。

#### 大型外部資金研究プロジェクト

(注)大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（医学系）・教授 玉置 俊晃

全国共同利用・共同研究拠点

事業名等	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム（グローバル型） 徳島健康・医療クラスター 財団法人とくしま産業振興機構
研究課題名	糖尿病および関連疾患の発症・進展を防ぐ食品・医薬品素材の開発研究
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(1MB)</a>

研究者情報

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（医学系）・教授 安友 康二

科学研究費補助金採択状況

事業名等	文部科学省 戦略的創造研究推進事業チーム型研究（CREST） 独立行政法人科学技術振興機構
研究課題名	稀少遺伝性炎症疾患の原因遺伝子同定研究
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a>

外部資金の受入状況

競争的資金に関する不正への対応

徳島大学職員への業務依頼

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（医学系）・特任教授 岡久 稔也

事業名等	経済産業省 課題解決型医療機器等開発事業
研究課題名	難治性胸腹水の外来治療を可能とするモバイル型胸腹水濾過濃縮用装置の開発
研究概要	

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（医学系）・助教 黒部 裕嗣

事業名等	厚生労働省 厚生労働科学研究委託委託事業費 医療機器開発推進研究事業
研究課題名	生体内分解性素材を用いた国産治療デバイスの開発 －経カテーテル的心房中隔欠損孔閉鎖デバイスの開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(145KB)</a>

(注)大学院ヘルスバイオサイエンス研究部（歯学系）・教授 石丸 直澄

事業名等	文部科学省 最先端・次世代研究開発支援プログラム 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名	イメージング技術を用いた臓器特異的自己免疫疾患の病態解明
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(102KB)</a>

大学院ソシオテクノサイエンス研究部・教授 安井 武史

事業名等	文部科学省 戦略的創造研究推進事業 総括実施型研究 独立行政法人科学技術振興機構
研究課題名	ERATO美濃島知的光シンセサイザプロジェクト
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a>

(注)大学院ソシオテクノサイエンス研究部・教授 大政 健史

事業名等	
------	--

事業名等	経済産業省 個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発（平成25年度事業） 次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発（平成26年度事業）
研究課題名	国際基準に適合した次世代抗体医薬等の製造技術
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(438KB)</a>

(注)疾患酵素学研究センター・教授 立花 誠

事業名等	文部科学省 最先端・次世代研究開発支援プログラム 独立行政法人日本学術振興会
研究課題名	哺乳類の性特異的なエピゲノム構造とその維持機構の解明
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(432KB)</a>

疾患プロテオゲノム研究センター・教授 高濱 洋介

事業名等	文部科学省 科学研究費 新学術領域研究
研究課題名	免疫四次元空間ダイナミクス
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら</a>

疾患酵素学研究センター・特任教授 木戸 博

事業名等	厚生労働省 厚生労働科学研究委託事業費 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業
研究課題名	乳幼児に適用可能な安全性と有効性の高いSF-10アジュバントによる インフルエンザ・RSV感染防御免疫誘導
研究概要	

疾患プロテオゲノム研究センター・教授 峯岸 克行

事業名等	厚生労働省 厚生労働科学研究委託事業費 難治性疾患等克服研究事業
研究課題名	高IgE症候群の病因・病態解明と新規治療法開発
研究概要	<a href="#">研究概要はこちら(136KB)</a>

(注)糖尿病対策センター・センター長・特任教授 船木 真理

事業名等	文部科学省 イノベーションシステム整備事業 地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型） 徳島健康・医療クラスター 財団法人としま産業振興機構
研究課題名	1. 糖尿病克服に向けた先進的臨床研究 2. 糖尿病の新規治療の確立
研究概要	

最終更新日：2014年11月11日

[ページの先頭へ戻る](#)

| 大学紹介 | 学部・大学院・病院 | 附属施設・図書館 | 研究・産学連携 | 地域連携・国際交流 | 教育・学生生活 | 就職・進路 | 入試案内 |

| [このサイトについて](#) | [採用情報](#) | [リンク集](#) | [プライバシーポリシー](#) | [RSS2.0](#) | [資料請求](#) | Powered by [Joruri](#)

徳島大学（事務局） 〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地 電話番号 088-656-7000（代表）

Copyright©2011 Tokushima University All Rights Reserved.

## 平成22年度(競争的資金・3000万円以上の受入)

資料6

	所属	代表者	職名	相手先	研究題目	受入金額	契約日 (原)	契約日 (変更①)	契約日 (変更②)	契約日 (変更③)	終了日
1	ゲノム	岡崎拓	教授	独立行政法人科学技術振興機構	自己免疫疾患制御分子の同定による新規治療法の開発	56,225,000	H21.10.1	H22.4.1	H22.9.1	H22.11.24	H24.3.31
2	酵素	木戸博	教授	独立行政法人科学技術振興機構	低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップの開発研究	52,865,800	H22.3.31	H22.10.1			H23.3.31
3	酵素	木戸博	教授	独立行政法人科学技術振興機構	ウイルス感染感受性およびワクチン接種必要性診断技術の開発	38,480,000	H21.10.1	H22.4.1	H22.12.22		H23.3.31

## 平成23年度(競争的資金・3000万円以上の受入)

	所属	代表者	職名	相手先	研究題目	受入金額	契約日 (原)	契約日 (変更①)	契約日 (変更②)	契約日 (変更③)	契約日 (変更④)	契約日 (変更⑤)	終了日
1	酵素	木戸博	教授	独立行政法人科学技術振興機構	ウイルス感染感受性およびワクチン接種必要性診断技術の開発	34,190,000	H23.4.1	H23.12.14					H24.3.31
2	酵素	木戸博	教授	独立行政法人科学技術振興機構	低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップの開発研究	52,725,000	H23.4.1	H23.10.1					H24.3.31
3	酵素	松本満	教授	独立行政法人科学技術振興機構	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	39,000,000	H23.10.1						H24.3.31
4	ゲノム	岡崎拓	教授	独立行政法人科学技術振興機構	自己免疫疾患制御分子の同定による新規治療法の開発	60,450,000	H21.10.1	H22.4.1	H22.9.1	H22.11.24	H23.4.1	H23.11.1	H24.3.31

## 平成24年度(競争的資金・3000万円以上の受入)

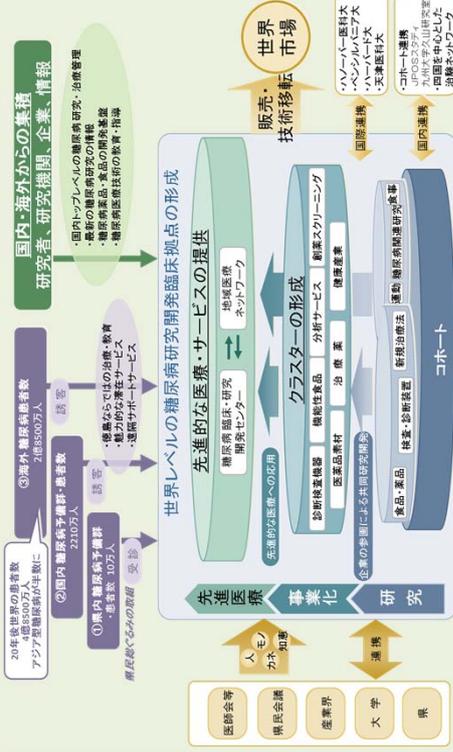
	所属	代表者	職名	相手先	研究題目	受入金額	契約日 (原)	契約日 (変更①)	終了日
1	医	安友康二	教授	独立行政法人科学技術振興機構	稀少遺伝性炎症疾患の原因遺伝子同定研究	87,373,000	H24.4.1	H24.12.25	H27.3.31
2	酵	松本満	教授	独立行政法人科学技術振興機構	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	50,440,000	H24.4.1		H27.3.31
3	酵素	木戸博	教授	独立行政法人科学技術振興機構	低侵襲性高感度マルチ抗原アレルギー診断チップの開発研究	47,525,000	H24.4.1	H24.11.1	H25.3.31
4	ゲノム	岡崎拓	教授	独立行政法人科学技術振興機構	自己免疫疾患制御分子の同定による新規治療法の開発	42,825,900	H24.4.1		H27.3.31

## 平成25年度(競争的資金・3000万円以上の受入)

	所属	代表者	職名	相手先	研究題目	受入金額	契約日 (最新)	契約日 (原)	契約日 (変更①)	契約日 (変更②)	終了日
1	医	安友康二	教授	独立行政法人科学技術振興機構	稀少遺伝性炎症疾患の原因遺伝子同定研究	53,170,000	H25.7.29	H24.4.1	H24.12.25	H25.4.1	H27.3.31
2	医	岡久稔也	准教授	株式会社タカトリ	難治性胸腹水の外来治療を可能とするモバイル型胸腹水濾過濃縮装置の開発	34,271,160	H25.12.5	H25.10.8			H26.2.20
3	工	安井武史	教授	独立行政法人科学技術振興機構	ERATO美野島的光センセイザプロジェクト	54,250,000	H25.10.1				H29.3.31
4	酵素	松本満	教授	独立行政法人科学技術振興機構	臓器特異的自己免疫疾患の病態解明による慢性炎症制御法の開発	54,860,000	H25.7.31	H24.4.1	H25.4.1		H27.3.31
5	ゲノム	岡崎拓	教授	独立行政法人科学技術振興機構	自己免疫疾患制御分子の同定による新規治療法の開発	50,570,000	H25.9.12	H24.4.1	H25.4.1		H27.3.31

### 事業の概要

糖尿病関連の高い研究ポテンシャルを有する研究機関や大手製薬企業の集積など、地域の有する特性を活かして喫緊の地域課題であるとともに、世界共通の課題である糖尿病の克服を目指し、先進的な研究開発をグローバルに展開でき、糖尿病に関するヒト・モノ・カネ・情報が集まる「**世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点**」の構築を図る。



### 研究開発面における成果

#### 先端的研修者の集積

- 先端的研修者を国内外から招聘して集積
- 国内外問わず、企業や大学から研究者を受入



#### 研修者の意識改革

- 企業のニーズと事業化を意識した研究開発の実施
- オープンイノベーションの重要性の認識

#### 糖尿病研究開発拠点の基盤整備

- 糖尿病臨床・研究開発センターの設立
- 藤井節郎記念医科学センターの設立



#### 知的財産の創出

- 国内特許出願: 51件、海外特許出願: 26件
- 特許技術を基にした大学発ベンチャー企業を設立

#### 論文執筆による研究の認知度向上

- 5年間で274報の査読論文を執筆。
- Diabetes, MBC, Natureなどにも掲載



#### 若手研究者の育成

- 先端的研究者の下でのOJT
- 企業との共同研究による橋渡し人材育成



#### 産学官の連携基盤の強化

- 参画企業数 県内: 53社 県外: 29社 海外: 5社
- 徳島地域の総力を挙げた取組を円滑に実施

#### 広域・国際連携基盤の構築

- 国内外の大学や企業との連携基盤構築
- アジア糖尿病フォーラム等の国際会議開催



## 事業化面における成果

### 糖尿病関連の新製品が国内外で販売

#### 血管内皮機能検査装置(ハイスベックモデル)と解析ソフト

- ・薬事法による日本での製造販売承認
- ・中国国家食品薬品监督管理局から医療機器承認を受け中国で販売開始
- ・本事業期間中の売上12億7,400万円
- ・平成24年から中国での販売を本格化



### 「徳島ならではの」医療サービスの事業化

#### 糖尿病の先進的検診プログラムと医療観光

- ・本事業で開発したFMDや介入プログラム等を導入した「徳島ならではの」先進的検診プログラムを事業化。
- ・本プログラムを活用した医療観光を事業化し、中国から49人が来県



### 地域企業による事業化・商品化

#### すだち果皮等を用いた食品やサプリメント

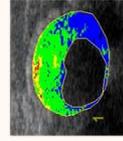
- ・徳島県内企業による事業化・商品化件数は25件
- ・本事業期間中の売上6億2,862万円
- ・現在も売上は拡大しており、地域経済への貢献度は大



### 事業化が間近な試作品

#### 3次元イムノクロマトチップ等の検査・診断装置

- ・企業と量産化試作品の保存テストを実施中の3次元イムノクロマトチップなど、事業化が間近な成果も創出



**本事業により創出された成果を更に発展・進化させ  
新たな地域戦略を策定！！**

### とくしま「健幸」イノベーション構想

新たな研究者の招聘

知のネットワーク構築

地域を担う人材の育成

**糖尿病の克服を通じた健康長寿社会の実現と産業創出による地域経済活性化**

# とくしま「健幸」 イノベーション構想 推進地域

徳島糖尿病研究開発イノベーションの  
創出による糖尿病克服と  
健康・長寿社会の実現



## 持続的なイノベーション創出による糖尿病の克服と 世界レベルの糖尿病臨床開発研究拠点の形成を目指して



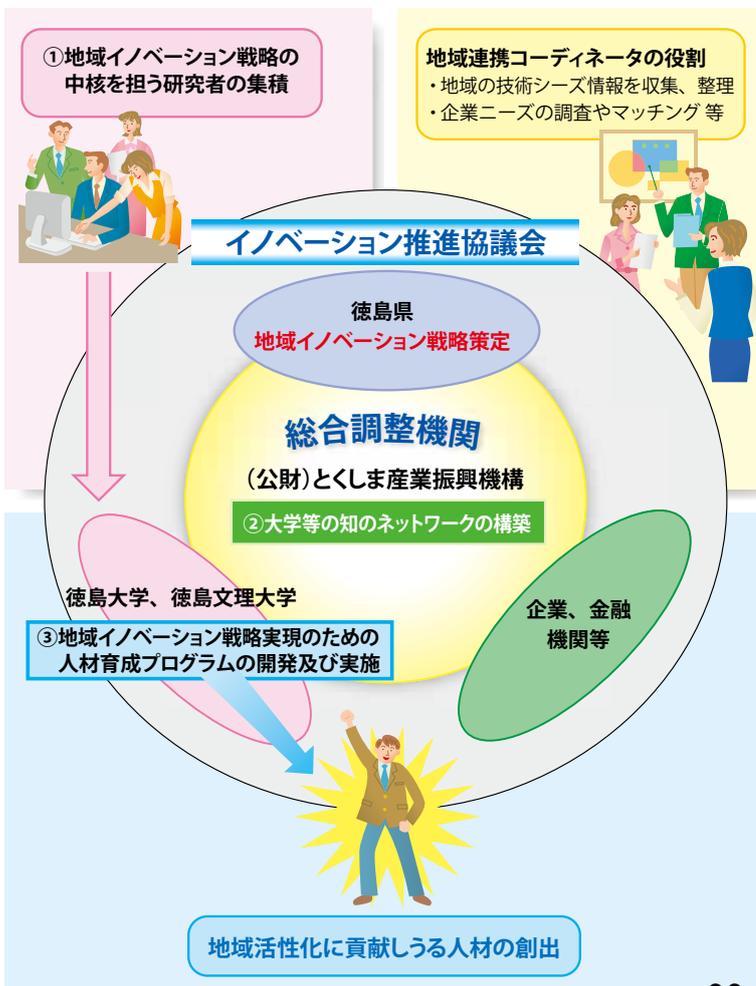
プロジェクトディレクター  
濱尾 重忠

平成26年7月、糖尿病の克服に向けた持続的なイノベーションの創出を目指す「とくしま「健幸」イノベーション構想」が、国から四国で初めてとなる「地域イノベーション戦略推進地域（国際競争力強化地域）」に指定され、また同時に文部科学省の「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択されました。

糖尿病はアジアを中心に患者数が急増しており、いまや世界的に克服すべき課題となっています。本プログラムを活用し、徳島地域におけるこれまでの取組により蓄積された成果をさらに発展させ、糖尿病克服に向けた産学官金が一体となったより一層の取組が進められることとなります。

今後、関係機関との強力な連携のもと、構想に基づく取組を加速し、健康・医療産業の創出による地域経済の活性化や、糖尿病克服による健康長寿社会の実現を目指して参ります。

### 地域イノベーション戦略支援プログラムとは



地域イノベーション戦略推進地域に選定された地域のうち、戦略の実現に向けた優れた事業構想を持つ地域に対して、文部科学省が地域の主体的・自立的な活動展開に対する支援を行う事業です。

徳島地域においては本プログラムで、①地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積、②大学等の知のネットワークの構築、③地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施の3メニューについて支援を受け、糖尿病克服のための持続的イノベーション創出に向けた研究開発等の取組を進めます。

事業実施期間は平成26年度から平成30年度の5年間を予定しています。

# とくしま「健幸」イノベーション構想について

「とくしま「健幸」イノベーション構想」では、これまでの取組のなかで生み出された地域ネットワークや研究開発基盤をもとに、糖尿病の予防・診断・治療に関する幅広い取組を徳島県の総力を挙げて実施することにより、糖尿病の克服と健康寿命の延伸を目指します。

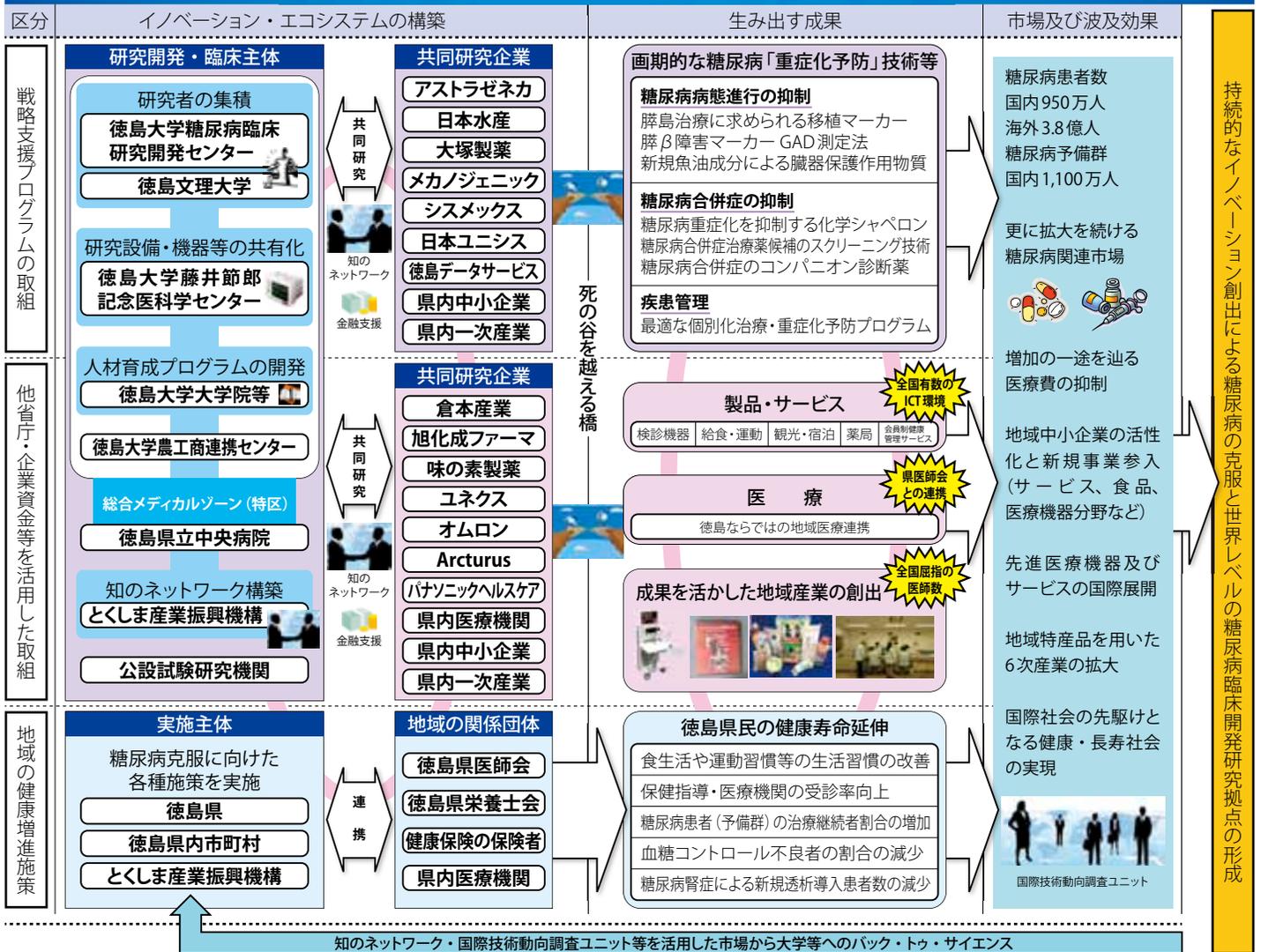
大学等の知見を生かした世界レベルの糖尿病の研究開発を進め、その研究成果を「製品」及び「サービス」両面での事業化に結びつけるとともに、地域住民の健康増進を推進するための戦略を展開します。

これにより、世界的に急増する糖尿病の克服に資する製品・サービスを、国内はもとより国際市場へと拡大させるとともに、

県民の健康寿命の延伸による「健全な労働力の維持確保」及び「医療費の削減」を実現し、糖尿病をテーマとした課題解決モデルの構築を図り、活力にあふれる地域経済を創造します。

産学官金が密接に連携した取組を通じてイノベーションを創出し、そこで得た成果を更なるイノベーション創出のための取組に還元していく「イノベーションエコシステム」を構築し、事業完了後も自立的かつ持続的な発展が可能な、世界レベルの糖尿病臨床研究開発拠点の形成を目指します。

## とくしま「健幸」イノベーション構想の全体図



持続的なイノベーション創出による糖尿病の克服と世界レベルの糖尿病臨床研究開発拠点の形成



研究統括：徳島大学副理事

**松本 俊夫**

徳島地域のシーズをさらに強化、補完するのに必要な技術を持つ人材を国内外から招へいし、3テーマの柱からなる研究開発を実施します。

### テーマ①：糖尿病病態進行からまもる研究

膵β細胞の傷害を早期に発見するエピゲノム解析技術等の開発により、糖尿病の早期診断、膵島移植後の細胞障害の定量化を実現し、膵β細胞治療の技術開発を促進します。

また、これまでの成果である「超高感度自己抗体測定法」の応用により、膵β細胞の機能低下を早期かつ的確に診断、適切な治療につなげます。

さらに、魚油由来脂肪酸にインスリン抵抗性改善作用等があることに着目し、世界初となる糖尿病の原因であり合併症でもある非アルコール性脂肪性肝炎の新たな治療薬や特定保健用食品の開発を目指します。



研究代表者

**松久 宗英**

(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター 特任教授)

招へい研究者

渡辺 敏弘(シスメックス)、廣島 佑香(ニューサウスウェールズ大学)、竹尾 仁良(日本水産) 他1名予定

### テーマ②：糖尿病合併症からまもる研究

糖尿病と合併症の原因となる小胞体ストレスを解消する画期的な創薬を実現することにより、医療費削減、健全な労働人口の確保に寄与することを目指します。

これまでの成果である「小胞体ストレスを標的とした創薬スクリーニング法」を応用し、世界初となる画期的な治療薬のリード化合物を開発します。

また、このスクリーニング法をさらに横展開し、糖尿病合併症のリード化合物の開発を行い、開発完了後は早期の創薬開発・社会実装を実現します。これらの研究開発の促進と高度化を図るため、これまでの成果である「細胞機能を体外で再現する技術」を応用し、ヒト間葉系幹細胞を用いたiPS細胞培養系の確立等も併せて行います。



研究代表者

**親泊 政一**

(徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 教授)

招へい研究者

谷内 秀輔(広島大学)、山川 哲生(産業技術総合研究所)、張 君(広島大学)、阿部 佳織(産業技術総合研究所)

### テーマ③：ニーズを集め、ベストミックスを組み立てる研究

効果的な糖尿病治療を実現するとともに、テーマ①及びテーマ②の研究開発と臨床との有機的連携を図るため、ICTを活用した新たな地域医療連携モデルの開発等を行います。

これまでの成果の発展形である検診・生活指導サービス、ICTを活用した地域医療ネットワーク、エネルギー密度の概念を取り入れた食事メニュー・運動療法等と、効率的な介入指導と糖尿病電子手帳を用いた患者本人による疾患管理等を組み合わせた、ICTを活用した糖尿病地域医療連携モデルを開発します。

また開発後は、地域の民間医療機関等への技術移転を進めるとともに、地域の健康食品産業やサービス産業との連携を進め、幅広い糖尿病検診治療ビジネスモデルの構築を目指します。



研究代表者

**船木 真理**

(徳島大学病院 糖尿病対策センター 特任教授)

招へい研究者

松本 佳也(兵庫大学)、曾我部 麻子(カリフォルニア大学)

## ② 大学等の知のネットワークの構築

(実施機関：(公財) とくしま産業振興機構)

地域のシーズ及び企業や市場のニーズを調査、分析し、地域イノベーション戦略実現のための各種取組にフィードバックするとともに、生み出された成果の発信とベストマッチングを行い事業化を促進します。

またグローバルな競争力を持つため不可欠な知的財産戦略の構築、各種規制への対応、ベンチャー企業の設立支援などのため、それぞれの分野の実務に精通した人材をアドバイザーとして配置します。



## ③ 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：徳島大学)

今後地域において不可欠となる人材を育成するための3つの人材育成プログラムの開発と実施を行います。将来の指導者的立場となる人材を長期的な視点で育成することにより、持続的なイノベーションの創出を狙います。

### プロジェクトマネージャー育成プログラム

- ▶ 大学院生を主な対象として、社会ニーズの解決を第一に考え、研究シーズや関連技術を集め事業化に向かってプロジェクトを推進していくプロジェクトマネージャーを「イノベーション基礎コース」と「イノベーション実践コース」の2つのステップで構成されるプログラムで育成します。

### 地域糖尿病療養指導士 (LCDE) 育成プログラム

- ▶ 大学院生や医療従事者を主な対象として、糖尿病専門医のもとで患者への教育・指導を行う知識と技能を持った糖尿病療養指導士を、県医師会による講習とも連携した大学の教育プログラムとeラーニングによる教材発信などにより育成します。

### ICTネットワーク運営、分析担当者育成プログラム

- ▶ 大学院生や医療従事者を主な対象として、糖尿病克服のためのICTネットワークを運用・管理し、蓄積されたビッグデータを活用することの出来る人材を、講習会やeラーニング、さらにはOJT方式による知識と技術の習得を通じて育成します。

## 徳島地域のこれまでの取組について

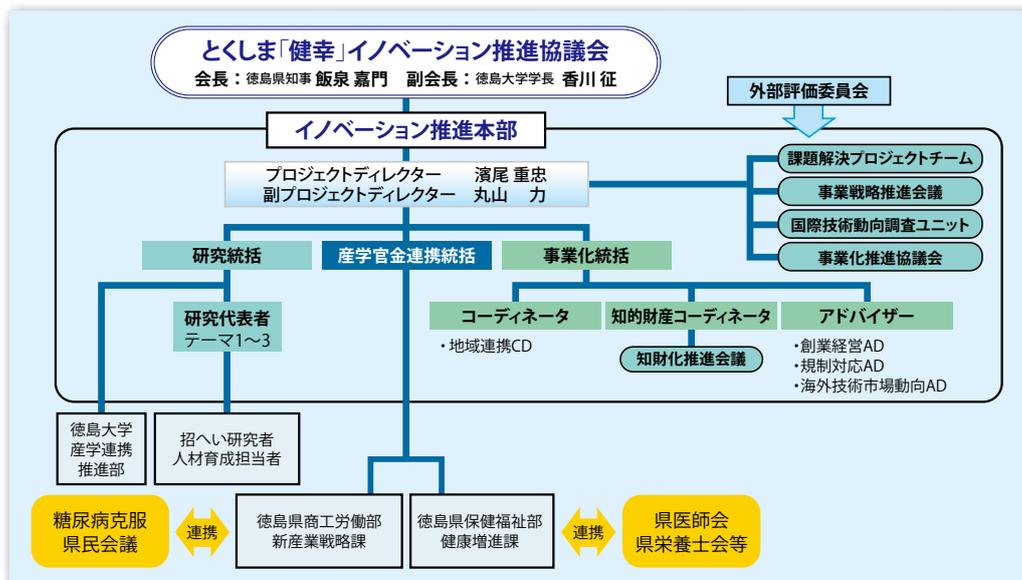


徳島地域では、平成17年に12年連続で糖尿病死亡率全国ワースト1位が確定したことを受け、徳島県と徳島県医師会が共同で「糖尿病緊急事態宣言」を提唱し、運動不足の解消や食生活の改善に向け、地域を挙げての「健康とくしま運動」を展開してきました。

また平成21年度から5年間取り組んだ文部科学省の支援による知的クラスター創成事業（徳島健康・医療クラスター）においては、産学官が連携し、糖尿病に関する検査診断装置や食品・医薬品素材、またそこから派生するサービス事業も含む幅広い研究開発を実施し、5年間で事業化・商品化件数33件、売上高は19億円を超えるなど大きな成果が生まれました。

平成26年度からスタートした地域イノベーション戦略支援プログラムにおいては、これらの成果を発展させ、糖尿病重症化抑制に焦点を当てた研究開発等に取り組みます。またその他の成果についても、他省庁や企業資金等を活用した地域の取組により、今後も成果の拡大、展開に取り組んでいきます。

## 事業推進体制



## とくしま「健幸」イノベーション推進協議会構成委員

- 大塚製薬株式会社
- 徳島県鳴門病院
- 徳島県商工会議所連合会
- 徳島県商工会連合会
- 徳島県中小企業団体中央会
- 徳島大学
- 徳島文理大学
- 徳島県
- 阿波銀行株式会社
- 徳島銀行株式会社

## お問い合わせ先



### 公益財団法人とくしま産業振興機構 産学連携推進部

〒770-8021 徳島市雑賀町西開11番地の2

Tel: (088) 669-4757

Fax: (088) 669-4759

<http://www.tokushima-kenkou.jp>

## 環境防災研究センター 平成27年度 事業内容

## 1) 講演会などの市民講座やシンポジウムの開催

## ①勝浦川流域フィールド講座（共催）

5月24日, 5月31日, 6月21日, 5月28日

7月26日, 8月2日, 9月13日, 10月25日, (計8回)

受講生 12名

## ②地域継続シンポジウム（主催）

10月22日 13:30~16:30（徳島県消防学校講堂）, 48名.

## ③平成27年自然災害フォーラム（主催）

12月14日 10:30~16:30（サンポートホール高松）, 82名

## ④BCP（事業継続計画）トップセミナー in 徳島,（共催）

2月1日 13:30~16:30（徳島グランヴィリオホテル 予定）

## ⑤第4回防災・危機管理人材養成シンポジウム（共催）

3月16日 13:30~16:30（香川大学工学部林町キャンパス）

## 2) 徳島市地震・津波マップ作成

・ 渭東地区, A3版カラー, 8500部

・ 西富田地区, A3版カラー, 8000部

## 3) 防災パンフレットの制作協力

エフエム徳島「2015年度版防災パンフレット」, A5版, 69ページ.

## 4) 危機管理の人材育成

## ①徳島大学防災リーダー

・ 徳島県地域防災推進員養成講座

4月10日~2月12日, 計32回（工学部共通講義棟）

修了生 125名(予定),

・ 徳島県地域防災推進員短期養成講座

7月4日, 11日, 12日, 25日, 8月1日, (工学部共通講義棟)

修了生 127名

## ②防災士養成研修

・ 徳島県新任職員研修会

8月6日, 7日, 18日, 19日, 20日, (徳島県自治研修センター)

修了生 121名

## ③平成27年度徳島県防人プロジェクト（平成27年度徳島県地域防災推進員養成スタートアップ講座）

10月31日（徳島県西部総合県民局三好庁舎）

11月1日（徳島県西部総合県民局美馬庁舎）

11月21日（神山町役場）

11月28日（徳島県南部総合県民局阿南庁舎）

11月29日（徳島県南部防災館）

5会場での受講生計110名

④企業防災支援活動

- ・徳島県BCP研究部会 毎月1回（徳島大学工業会館ほか） 計12回
- ・事業継続管理（BCM）訓練（鳴門市役所ほか） 計3回
- ・「地区防災計画モデル事業」現地アドバイザー（大塚製薬工場ほか）  
8月21日ほか、計6回

⑤自治体BCP担当者研修会（主催）

- 1月8日 14:00～17:00（鳴門市役所）
- 2月17日 14:00～17:00（阿南市役所）
- 2月18日 14:00～17:00（徳島県庁）

⑥自然災害リスクマネジメント講座（徳島県主催、徳島大協力）

- 1月18日 9:30～16:30 徳島県自治研修センター 参加者57名.

⑦災害医療・保健福祉コーディネータ養成支援

- ・平成27年度徳島県「警察・医師会・歯科医師会」合同災害時遺体対応訓練  
6月7日
- ・平成27年度徳島県医師会遺体検案研修会、12月6日
- ・徳島県災害時対応研究会第5回研修会、2016年1月31日.

⑧四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家（災害・危機対応マネージャー）の養成

平成27年度修了生、徳島大学9名、香川大学9名（予定）

⑨「実践的防災・安全教育総合推進事業」推進委員会委員及び防災アドバイザーを通じた学校安全教育支援、佐古小学校・千松小学校・津乃峰小学校ほか

⑩徳島県建設業BCP策定支援

- ・なでしこBC連携訓練（美馬市脇町建設現場）,9月
- ・徳島県建設業BCP認定企業フォローアップ研修（徳島県庁）,10月
- ・なでしこパトロール（海部郡牟岐町建設現場）,1月

⑪社会福祉施設のBCP策定支援

- ・障害児福祉施設「未来」BCP研修会  
12月4日、3月16日（予定）

5) 防災・環境保全啓発番組の制作と放映

昨年度に引き続き、ケーブルテレビとくしま(株)、ニタコンサルタント(株)と協力して防災と自然環境保全についての啓発番組「徳島の環境 防災 まちづくり シリーズ2」を制作し、ケーブルテレビ徳島系列にて11月2日（月）から毎週月曜日の9:00～9:30と16:30～17:00に放映。なお、第4回以降は平成28年度に放映予定。

- ・第1回 豪雨災害に備える（11月・12月放映）
- ・第2回 人と生きものが躍動する干潟（1月・2月放映）

- ・第3回 徳島の豊かな自然を守る人々（予定）（3月・4月放映）
- ・第4回 昭和51年台風17号災害（予定）（5月・6月放映）
- ・第5回 ホタルと生きる（予定）（7月・8月放映）
- ・第6回 防災技術最前線2（予定）（9月・10月放映）

#### 6) 自然環境の保全・修復・再生に係る研究開発と地域支援

- ① 徳島県内の23の環境保全団体からなるネットワーク組織である「生物多様性とくしま会議」の運営・活動の支援,毎月第2水曜日
- ② 「スマホ生きもの調査」の実施（生物多様性とくしま会議等との共催）12月28日～1月31日（予定）
- ③ みなみから届ける環づくり会議 運営支援 11月9日,2016年1月19日,2016年2月17日（予定）

#### 7) 自然災害調査

平成27年度も全国各地で災害調査を実施した。

- ① 2014年広島土石流災害調査
- ② 長崎県佐世保市・地すべり調査
- ③ 高知県東洋町野根・深層崩壊調査
- ④ 2015年台風11号災害調査
- ⑦ 山形県蔵王火山砂防調査
- ⑧ 長野県地附山地すべり/浅間火山砂防調査
- ⑨ 徳島市眉山・土石流/落石調査
- ⑩ 1972年天草豪雨災害/2012年阿蘇土石流災害調査
- ⑪ 2011年紀伊半島豪雨災害調査
- ⑫ 香川県直島・岩盤崩壊調査
- ⑬ 2015年関東・東北豪雨調査（常総市ほか）
- ⑭ 1972年天草豪雨災害調査/2012年阿蘇土石流災害調査
- ⑮ 東日本大震災追跡調査

#### 8) 研究開発

- ① G空間防災システムとLアラートの連携推進事業「被害シミュレーションとデジタル道路地図（DRM）の融合等による災害対応業務即時プロジェクト」（代表：徳島県，分担）

## 地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果 ～ 地方創生に向けた金融機関等の「特徴的な取組事例」～

まち・ひと・しごと創生本部事務局  
平成27年12月

### 【はじめに】

本事例集は、金融機関等（※）の地方創生に向けた取組みのうち、地方公共団体等と連携している事例や、先駆性のある事例などを収集しています。

地方創生の取組みは、平成27年度中に「地方版総合戦略」が策定され、28年度より具体的事業を本格的に推進する段階に入ります。本事例集を産官学金労言の関係者の皆様の取組みの参考としていただき、創意工夫のある取組みが各地域に広がることを期待しています。

なお、個別事例の資料については、各金融機関等が作成しています。文中等における取組みに関する評価等については、当該資料を作成した各金融機関等の見解であり、当事務局の見解を示したものではありません。

※対象は、都銀等（3メガ、3メガ信託、新生、あおぞら、りそな、埼玉りそなの10行）、地方銀行（64行）、第二地方銀行（41行）、信用金庫（267金庫）、信用組合（職域を除く137組合）、政府系金融機関（4行庫）の計523金融機関と官民ファンド（5ファンド）。

# ＜目 次＞

## 1. 戦略策定支援（4件）

- ・税務データを活用した地域産業分析とこれに基づく地方版総合戦略の策定支援 <北洋銀行>・・・ P 1
- ・『千葉県創生』戦略プランに基づく各自治体への広域連携の働きかけ <千葉銀行>・・・ P 3
- ・地域経済分析システム（RESAS）の活用に向けた勉強会 <多摩信用金庫>・・・ P 5
- ・地域経済の見える化推進 <日本政策投資銀行>・・・ P 7

## 2. ローカルイノベーション、ローカルブランディング（6件）

### (1) ローカルイノベーション

- ・静岡県産業成長戦略に基づき成長が期待される中堅企業への官民一体となった支援 <静岡銀行>・・・ P 9
- ・地域の中小企業と地方大学を結びつける、課題解決型産学金連携 <阿波銀行>・・・ P11
- ・長崎都市経営戦略推進会議（長崎サミット）の取組み <十八銀行>・・・ P13
- ・地元中小企業の技術を結集した新分野進出のための製品開発 <東京東信用金庫>・・・ P15

### (2) ローカルブランディング

- ・西和賀町における地方創生地域づくりプロジェクト <北上信用金庫>・・・ P17
- ・クラウドファンディング等の新たな資金調達メニューによる地域資源の発掘及び新規事業の立ち上げ支援 <飛騨信用組合>・・・ P19

## 3. 中堅・中小企業支援（5件）

- ・地域の資金好循環の実現に向けた『サプライヤー探索サービス』（逆見本市商談会）によるマッチング支援 <十六銀行>・・・ P21
- ・事業性評価を通じた経営改善支援 <広島銀行>・・・ P23
- ・アウトバウンドビジネス（海外輸出・海外進出）のワンストップ支援 <福岡銀行>・・・ P25
- ・新規販路開拓コンサルティング『WIN-WIN ネット業務』への取組み <南日本銀行>・・・ P27
- ・官民協働による移住促進施策と連携した創業支援 <のと共栄信用金庫、日本政策金融公庫>・・・ P29

## 4. 観光地域づくり（2件）

- ・観光地まちづくりモデル構築による観光地の面的活性化へ向けた取組み <八十二銀行、地域経済活性化支援機構>・・・ P31
- ・観光関連産業を強化する地域における連携体制の構築 <中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、みなと銀行、日本政策投資銀行>・・・ P33

## 5. 農林水産業の成長産業化（2件）

- ・NCB九州6次産業化応援ファンドへの取組み <西日本シティ銀行、農林漁業成長産業化支援機構>・・・ P35
- ・新産業の育成（オリーブ）を通じた地域雇用の創出 <鹿児島銀行>・・・ P37

## 6. 定住促進支援、障害者自立支援（2件）

- ・『リバースモーゲージローン』を活用した定住促進の取組み <常陽銀行>・・・ P39
- ・芸術的才能を活かした障がい者の自立支援に向けた官民連携の取組み～ゆめいくワークサポート事業 <山陰合同銀行>・・・ P41

## 7. まちづくり（4件）

- ・紫波中央駅前都市整備事業（通称：オガールプロジェクト）への支援を通じた地方創生 <東北銀行>・・・ P43
- ・地域を支える街づくり支援・企業支援の実施 <西武信用金庫>・・・ P45
- ・大阪発！全国の信金がつなぐ商店街活性化事業 <大阪シティ信用金庫>・・・ P47
- ・ヘルスケアファンドの活用による地域包括ケアシステムのモデル構築 <地域経済活性化支援機構>・・・ P49



## 地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言

徳島大学は、徳島の地で、自主・自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、地域住民や地元企業、行政等と連携しながら、徳島県に所在する国立総合大学として地域課題と真摯に向き合い、地域の未来を心豊かで持続可能な社会とすることを最重要使命とし、次の基本方針に基づき全力で取り組み、地域と共に未来へ歩むことを宣言する。

### 基本方針

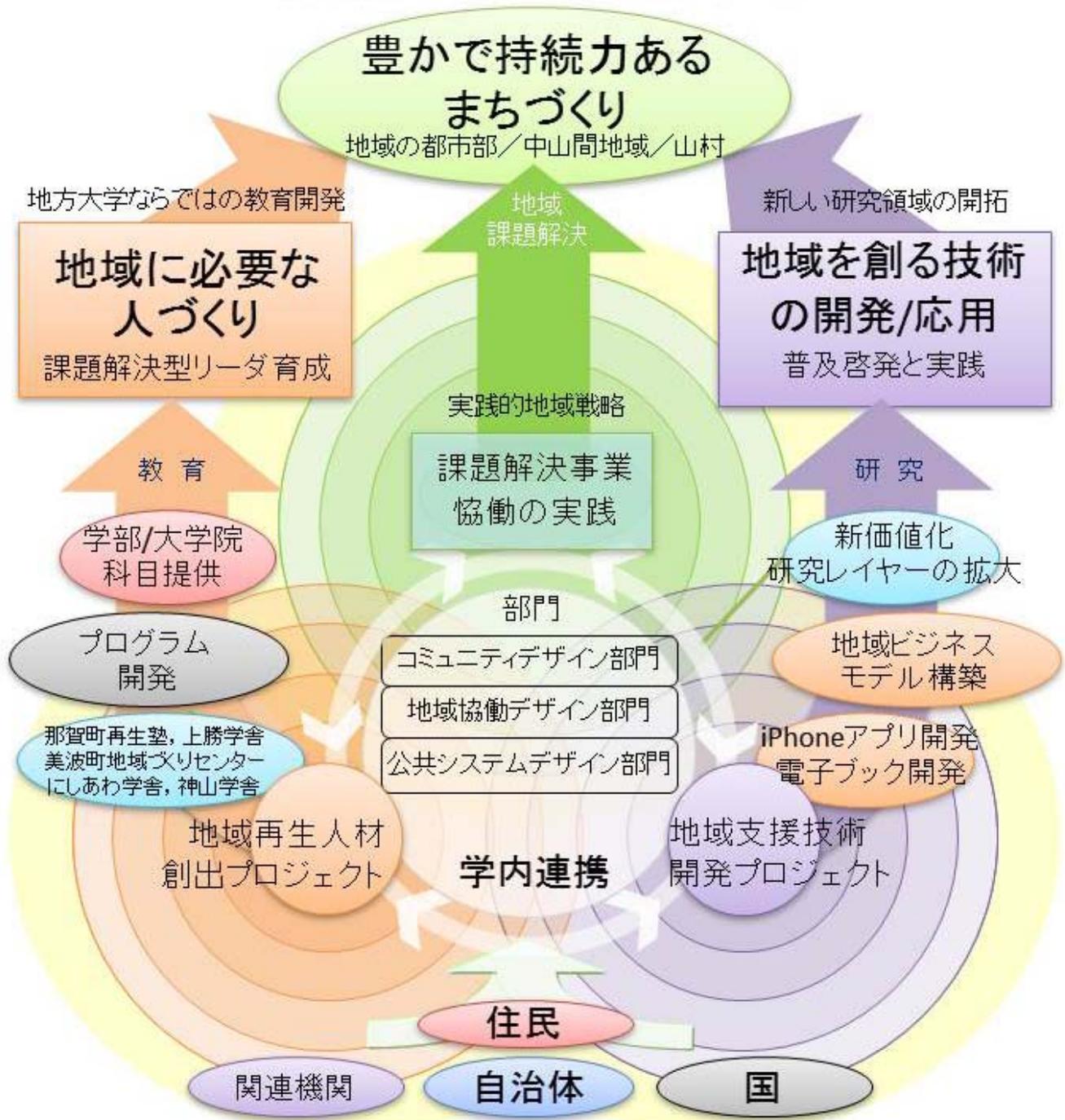
1. 地域課題の解決に挑戦する人材育成に取り組む
2. 地域産業のイノベーションに貢献する研究開発に取り組む
3. 地域医療・福祉の充実・発展に取り組む
4. 地域のグローバル化に取り組む
5. 地域文化の継承と発展に取り組む

平成26年8月29日

徳島大学長

「地域創生センターの活動フレーム」

地域創生センターの活動フレーム



「那賀の特産品「はんごろし」

那賀町内の農産物加工グループ「ビーンズあい」との協働

はんごろし



地域再生塾の地域資源掘り起こしの授業の中で、旧相生町では、おはぎのことを「はんごろし」と呼ぶことに着目、農産物加工グループ「ビーンズあい」に「はんごろし」の商品名で販売することを提案 幟やチラシを作成してPRした。

●別添資料4 「ゆずばあちゃんの手焼きせんべい販売」

別添資料16

ゆずばあ煎餅

22. 11. 28  
ふるさとリレーフェスティバル出品

22. 1. 8~22. 1. 9  
小松島みなと交流センター  
社会実験「市民市場」に出品



「ミニ四国八十八カ所 水崎廻りマップ作成」

**徳大院グループ2冠**  
「まちづくりデザインコンペ」

那賀「ミニ札所巡り」地図作成  
地域との連携評価

ミニ札所巡り  
大師をしのぶ  
那賀で「正御影供」

那賀のミニ四国八十八カ所PR  
先祖への感謝を歌に

徳大生がパンフ作成

平日にも拘わらず  
約1000人の参拝客があった。  
学生は、一連の取り組みを  
土木学会土木計画学研究会  
主催のコンペで発表

YouTube検索  
正御影供 歌デュエット  
またはtetsumusic 1

御正御影供(おしょうめっく)に参加  
学生がパンフレットの効果をア  
ンケート調査  
塾生が自作の巡礼唄CD  
(正御影供)を配布した。

徳大生がパンフ作成

那賀のミニ四国八十八カ所PR  
先祖への感謝を歌に

徳大生がパンフ作成

●別添資料6 「物産直売『なかなか市』」

別添資料18

なかなか市

平成20年5月から毎月第4日曜日に、物産直売「なかなか市」を、太龍寺ロープウェイ道の駅で開催



目標

なかなか市を  
丹生谷(那賀町)観光  
の拠点に育てる

なかなか市で集客し  
丹生谷の他の観光地  
へ誘導する

毎月 なかなか市  
で何らかの催しを  
企画し実施する。

集客の話題作りと応援団の  
活動内容の拡大を図る

協力者の輪作りに活かす



風船工作教室



木頭釜炒り茶  
フェア  
(特産 釜炒り茶  
を紹介)



竹細工教室  
(竹とんぼ・竹箸の作成)

「世界農業遺産認定支援事業関連資料」

「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」

## 徳島・剣山の傾斜地農耕システム

徳島剣山世界農業遺産推進協議会

[めざそう！世界農業遺産認定へ  
にし阿波の「傾斜地農耕システム」  
イベント情報  
活動情報  
地域のパートナー  
ダウンロード  
リンク](#)

### 徳島剣山世界農業遺産推進協議会とは

徳島剣山系のにし阿波地域（三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町）は、国内有数の中山間地域を構成し、斜度の高い傾斜地を広く有しております。山々の斜面にはりつくように形成された集落、田畑、採草地、里山の美しい景観とそこで営まれる自然と調和した人びとの暮らしは「日本の原風景」とも称されています。当地域で暮らす人びとは、ときには斜度30度以上にもなる急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、様々な知恵や技術を培い、土地利用の工夫をおこなってきました。また、こうした在来の知恵、技術、土地利用の工夫によって、この地域特有の豊かな農文化や多様な動植物が育まれてきました。しかし、現在この魅力ある農業とそれに関わる豊かな文化や生態系は、過疎高齢化、耕作放棄、鳥獣害など様々な現代的課題に直面し、その存続が危機にさらされています。

こうした厳しい状況のなか、これら農業とそれに関わる文化、生態系、景観を「にし阿波の宝」として保全し、次世代に継承していきたい、また、それらを地域の未来を明るくする潜在力として持続的に活用していきたいという思いから、平成26年7月10日、三好市、美馬市、つるぎ町、東みよし町、JA美馬、およびJA阿波みよしが主体となり、「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」を発足させました。当協議会は世界農業遺産認定申請主体となり、認定に向けた様々な取り組みをおこなっています。さらに、この取り組みを通じて、徳島剣山系の農業や地域の活性化を図るための活動もおこなっています。

平成27年3月26日には、各市町の民間活動団体が賛助会員として、徳島県および徳島大学がオブザーバーとして協議会に加入しました。今後も住民のみならずははじめとする地域の多様な主体と協働しながら、文字通り「地域一丸」となって活動に取り組んでまいります。

「世界農業遺産登録に向けたシンポジウム①」



にし阿波を世界農業遺産にする  
～世界遺産観光による地域づくりの可能性～

2015.3/6 金 14:00～(受付:13:30)

会場:つるぎ町農業改善センター3階

13:30～受付

【第1部】

14:00～14:10 ごあいさつ:兼西 茂(徳島剣山世界農業遺産推進協議会 会長、つるぎ町長)

趣旨説明:内藤 直樹(徳島大学 総合科学部 准教授)

14:10～14:30 基調講演 ① 「世界農業遺産とは? 日本における世界農業遺産の取組みについて」  
永田 明(国連大学サステイナビリティ高等研究所 シニア・プログラム・コーディネーター)

14:30～14:50 基調講演 ② 「傾斜地農耕システムの特徴と可能性」  
内藤 直樹(徳島大学 総合科学部 准教授)

14:50～15:10 基調講演 ③ 「文化遺産を活用した観光まちづくり」  
山 泰幸(関西学院大学 人間福祉学部 教授)

15:10～15:30 休憩

【第2部】

15:30～16:30 パネルトーク

「世界農業遺産候補地としての可能性」

コーディネーター:内藤 直樹(徳島大学 総合科学部 准教授)

パネリスト:永田 明(国連大学サステイナビリティ高等研究所 シニア・プログラム・コーディネーター),  
山 泰幸(関西学院大学 人間福祉学部 教授), 出尾 宏二(一般社団法人 そらの郷 次長),  
徳原 尚志(つるぎ町役場 商工観光課 課長)

世界農業遺産とは、世界的に重要な農業システムを国際連合食糧農業機関(FAO)が認定する仕組みです。にし阿波の山間部で暮らす人びとは、急傾斜地で暮らしていくための様々な知恵や技術を培ってきました。

このシンポジウムでは、世界農業遺産登録を目指しておこなってきた、にし阿波のとりくみについてご紹介するとともに、このとりくみを通じてにし阿波が世界とつながるための課題や可能性について考えます。



アクセス

つるぎ町役場隣接「つるぎ町農業改善センター」

【公共交通機関】JR徳島線 真光駅下車 東へ約 300 m

【車】自動車道利用:徳島自動車道 美馬ICから国道 438 号を南へ約 3 km

一般道利用:一般国道 192 号から国道 438 号南へ約 500 m

お問い合わせ

徳島県美馬部つるぎ町真光字東浦1-3

つるぎ町役場 商工観光課

TEL 0883-62-3111 FAX 0883-55-1051

syoukou@town.tokushima-tsurugi.lg.jp



【主催】徳島大学、徳島県剣山世界農業遺産推進協議会 【共催】つるぎ町

「世界農業遺産登録に向けたシンポジウム②」



在来農業とわたしたちの未来  
日本と世界の在来農業をめぐる課題と可能性

2015. 9/13日 14:00~ (受付: 13:30)  
会場: 穴吹農村環境改善センター 参加費: 無料

- 13:30~受付  
【第1部】  
14:00~14:20 ごあいさつ: 兼西 茂 (徳島剣山世界農業遺産推進協議会会長、つるぎ町長)  
牧田 久 (徳島剣山世界農業遺産推進協議会副会長、美馬市長)  
趣旨説明: 内藤 直樹 (徳島大学 総合科学部 准教授)  
14:20~14:35 「世界農業遺産 静岡の茶草場農法について」  
稲垣 栄洋 (静岡大学 学術院 農学領域 教授)  
14:35~14:50 「東アフリカと日本の雑穀栽培とその可能性について」  
加藤 太 (日本大学 生物資源科学部 助教)  
14:50~15:00 休憩  
15:00~15:15 「伝統的農法が維持してきたススキ草地の植物の多様性」  
山城 考 (徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部 准教授)  
15:15~15:30 「つるぎ町の茅場における獣害の現状把握」  
山城 明日香 (徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部 研究員)  
15:30~15:45 休憩  
【第2部】  
15:45~16:30 パネルトーク「在来農業と地域社会の未来に向けて」  
コーディネーター: 内藤 直樹 (徳島大学 総合科学部 准教授)  
パネリスト: 講演者全員、小泉 増雄 (西海農産加工研究会 会長)、  
山田 一弘 (美馬市役所 経済建設部 理事 / 加工観光課 課長)

【主催】徳島剣山世界農業遺産推進協議会 【共催】徳島大学

世界農業遺産とは、世界的に重要な農業システムを国連食糧農業機関 (FAO) が認定する仕組みです。にし阿波の山間部で暮らす人びとは、急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、驚くほど理にかなった工夫を凝らしてきました。地域の人が培ってきた農業や土地利用にかかわるユニークな知識・技術・制度・価値観や信仰の体系は、この地域特有の美しい景観や多様な動植物を育んできました。このシンポジウムでは、世界や日本の各地で実践されている在来農業と比較しながら、にし阿波地域で培われてきた在来農業の特徴や可能性を再発見します。そして在来農業を地域社会さらには人類全体の未来をひらく資源として活用していくための可能性や課題について考えます。



**アクセス**  
美馬市役所南側「穴吹農村環境改善センター」  
【公共交通機関】JR徳島線 穴吹駅下車 徒歩約5分  
【車】・自動車利用: 徳島自動車道 美馬ICから約4.5km  
・一般道利用: 国道193号 穴吹南側から約4.5km  
**お問い合わせ**  
徳島県美馬市つるぎ町美光町1-3  
徳島剣山世界農業遺産推進協議会 (つるぎ町役場加工課光野内)  
TEL: 0883-62-3411 FAX: 0883-62-4844  
syukou@town.tokushima-tsuji.jp

## 「四国八十八箇所霊場と遍路道 世界遺産登録推進協議会」

長い歴史を超えて地域と共存し継承されてきた、四国が世界に誇り生きた文化遺産です。

## 協議会について

四国八十八箇所霊場と遍路道 世界遺産登録推進協議会について

## 目的

千年を超えて地域と共存し、継承されてきた日本の代表的な文化遺産である四国遍路文化を後世へ確実に受け継いでゆくためには、構成する資産を保護するとともに、その文化的価値を国内外に向けて発信し理解を深めることが必要である。これまで多様な主体が四国遍路文化の保存・継承に向けた活動を行っており、こうした活動を確かなものにするため、四国が一体となり、世界遺産登録に向けた総合的な推進体制である同組織を設立する。

## 設立

- 平成22年3月16日

## 組織

- 会長(四国経済連合会会長)
- 副会長(4県知事)
- 構成員(4県、57市町村、地方支分部局、大学、霊場会、経済団体、NPO法人など  
(構成員の詳細は下表参照))

## 構成員

- 県・市町村(61団体)
 

徳島県、徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、三好市、勝浦町、神山町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町、高知県、高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町 愛媛県、松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町、香川県、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、多度津町
- 地方支分部局(8団体)
 

中国四国農政局、四国森林管理局、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、国土地理院四国地方測量部、中国四国地方環境事務所高松事務所、四国総合通信局

- 大学(3団体)
 

四国国立大学協議会(端門教育大学、**徳島大学**、高知大学、愛媛大学、香川大学)、四国大学、徳島文理大学
- 霊場会(1団体)
 

四国八十八箇所霊場会
- 経済団体(8団体)
 

四国経済連合会、徳島経済同友会、土佐経済同友会、愛媛経済同友会、香川経済同友会、高知県商工会議所女性会連合会、香川県商工会議所女性会連合会、四国商工会議所連合会
- NPO等(9団体)
 

NPO法人徳島共生塾一歩会、NPO法人ループ88四国、「四国へんろ道文化」世界遺産化の会、NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク、四国八十八箇所ヘンロ小屋プロジェクト、徳島ユネスコ協会、愛媛県ユネスコ連絡協議会、香川県ユネスコ連絡協議会、日本青年会議所四国地区協議会

## 会則・規程・要綱など

会則ならびに様々な規程・要綱などが定められている。

- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会 会則
- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会 寄附金取扱規程
- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会 後援名義使用承認手続き取扱要領
- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会 シンボルマーク使用取扱規定

フューチャーセンター in 四国 徳島セッション

# 「フューチャーセンターがやってくる！」 ～ 対話でつくとくしまの未来 ～

2013年5月26日(日) 13:00～17:45

- 会場: 徳島大学 地域・国際交流プラザ(日亜会館)2階 講義室1・2  
(徳島市新蔵町2丁目24番地)
- 講師/ファシリテーター:
  - ・ポプ・スティルガー(トランスフォーメーション研究所創立者/NPO法人ミラツク理事)
  - ・スーザン・ヴァーニグ(Art of Hosting ファシリテーター)
  - ・八木 陽一郎(香川大学大学院客員教授/NPO法人ミラツク理事)
  - ・吉田 敦也(徳島大学地域創生センター長/徳島大学大学院教授)
  - ・佐野 淳也(徳島大学地域創生センター助教)
- 定員: 50名
- 参加費: 無料

フューチャーセンターとは、未来思考で対話し、変化を起こして行くための“場”のことです。発祥の地はヨーロッパで、公共空間の未来設計、地域の課題解決、人材育成、モノづくりなど様々な領域で効果を発揮することから、オランダ政府、デンマーク政府はじめ世界中でフューチャーセンターが次々立ち上がっています。今回は、フューチャーセンターについて学び、セッションを実際に体験するプログラムを、海外からファシリテーターを迎えて行います。どなたでもどうぞお越しください！



## ■プログラム(通訳付き)

- 13:00 あいさつ
- 13:20 ストーリーテリング(お互いの物語を聴く)
- 13:50 ミニレクチャー①  
「世界と日本のフューチャーセンター」(吉田敦也)
- 14:30 ミニレクチャー②  
「内省型リーダーシップとダイアログ」(八木陽一郎)
- 15:00 グループダイアログ(小グループに分かれて対話)
- 15:30 フィッシュボウル(大きな輪で未来を語り合う)
- 16:10 ワールドカフェ(カフェのような雰囲気楽しく対話)  
「みんなでつくりたいこんな徳島の未来」
- 17:45 終了(予定)

## 【申込み方法】

下記の内容をご記入の上、メール又はFAXにて、5月22日(水曜)17時までにご連絡ください。

- 件名 5月26日「フューチャーセンターがやってくる！」申込み  
内容 ①氏名 ②所属 ③連絡先(メール又は電話番号)  
④一言メッセージ

## 【お申込先】

徳島大学総務部企画・評価課社会貢献係  
E-mail khkoukenc@tokushima-u.ac.jp  
FAX: 088-656-9965

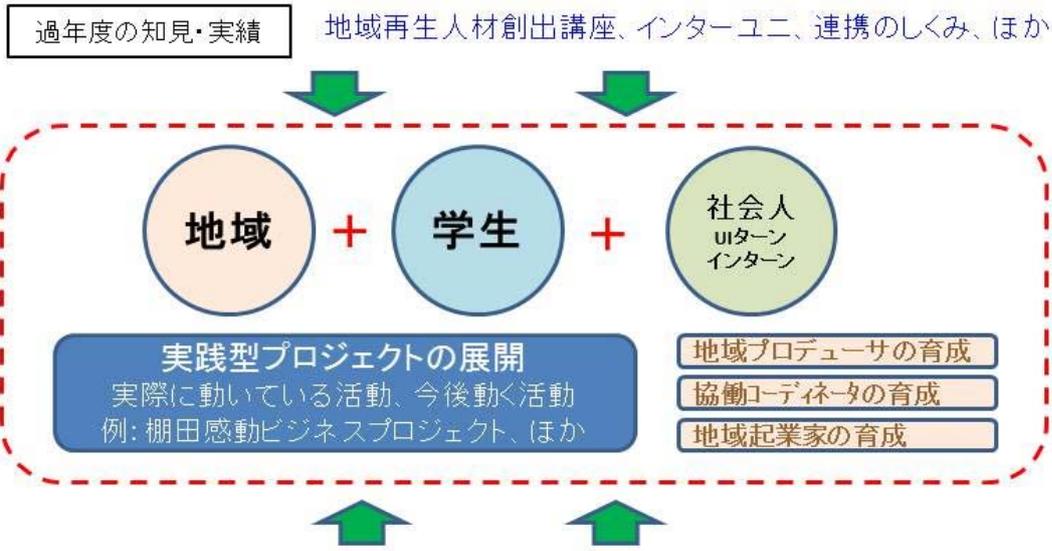
(当日の参加も可能ですが、人数確認のため事前申込にご協力願います)

主催: 徳島大学 地域創生センター  
共催: NPO法人地域縁結びネットワーク  
後援: 徳島県(申請中)  
徳島新聞社、四国放送(株)

【問合せ先】地域創生センター(佐野)  
TEL: 088-656-7684  
FAX: 088-656-7652  
E-mail: cr-office@tokushima-u.ac.jp

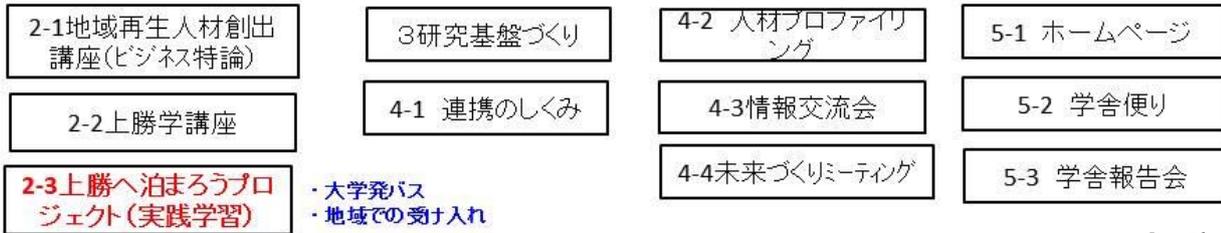
「上勝学舎の取組」

実践コラボ型取組 (チーム型、プロジェクト型)



8

学舎取組を「実践コラボ」において、相互連携

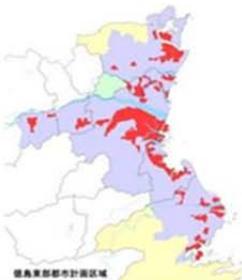


別添資料23

●別添資料11 「徳島大学・美波町地域づくりセンターの取組」

徳島県東部都市計画区域

5市3町 51万人 19.6万世帯  
市街化区域大半が浸水予想地域。



市街地シミュレーション  
+土地利用評価

都市計画区域における都市構造リスク評価

- 1)市街化要因分析
- 2)市街地予測モデルの開発
- 3)都市構造リスク評価指標開発  
災害・生活・環境
- 4)土地利用モデル提案と評価  
**規制緩和, 世代継承**
- 5)都市計画区域マスタープラン  
市町村担当者協議

美波町由岐湾地区

人口1487人 676世帯  
津波脅威下, 地域継承, 事前復興



自主防災活動  
への参与分析

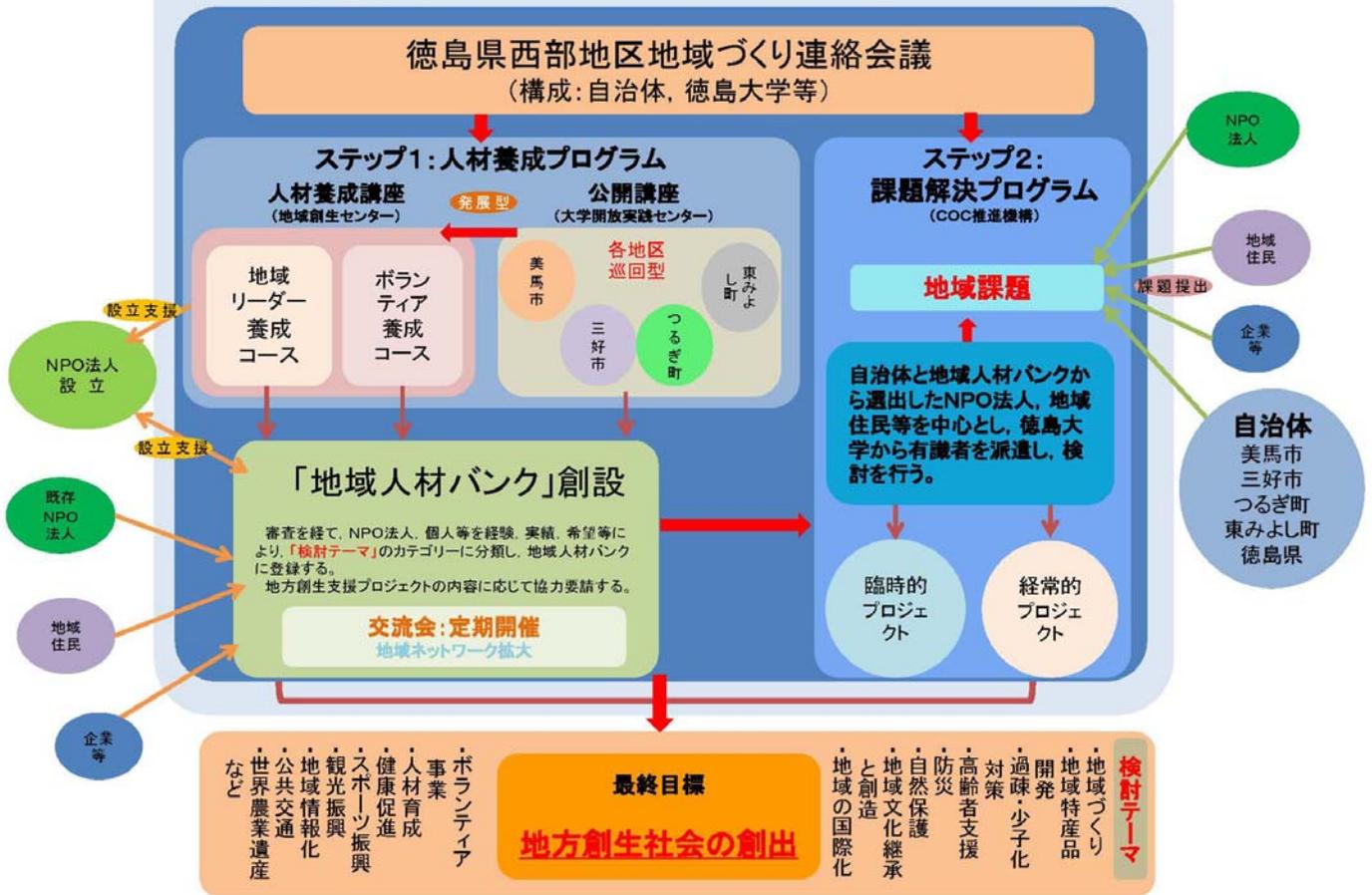
沿岸集落地域における協働型土地利用システム

- 1)集落地域参与分析  
自主防災組織  
事前復興計画  
震災前過疎防止
- 2)災害対応言説 復興調査  
災害対応史
- 3)意識調査  
防災まちづくり意識
- 4)協働型土地利用システム  
**新開プロジェクト支援**

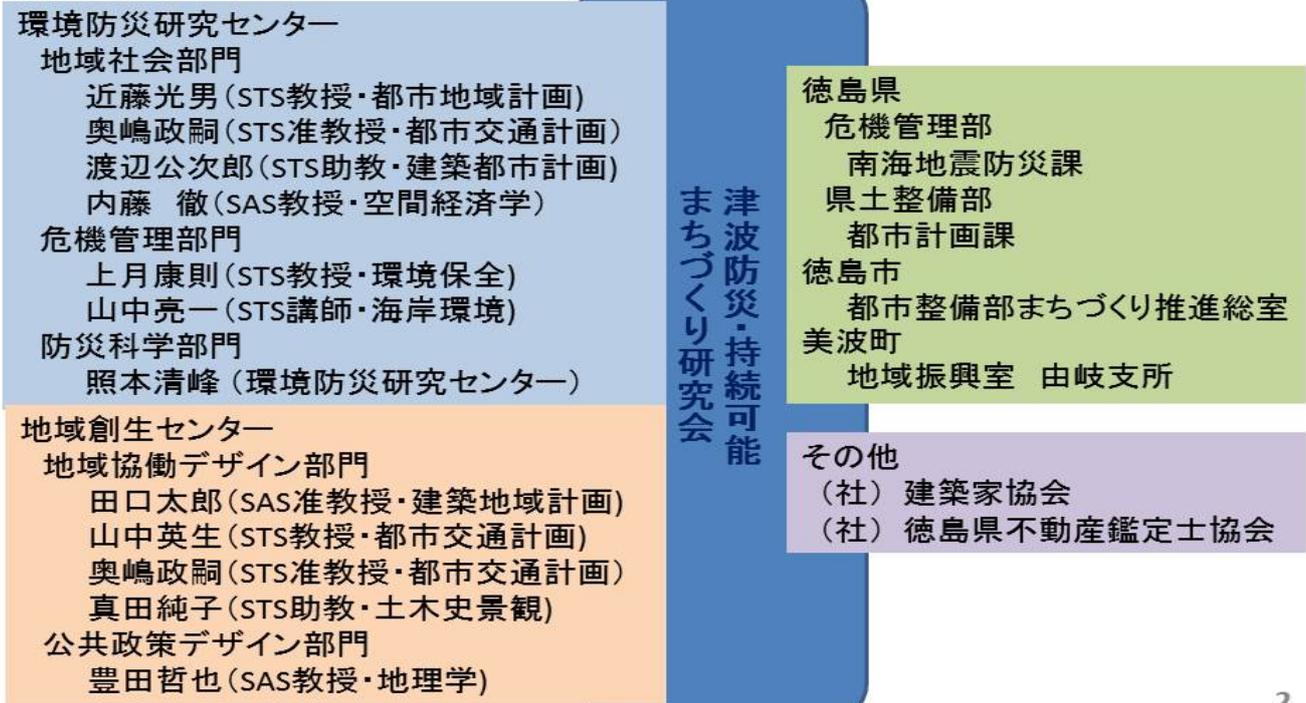
## 徳島大学地方創生支援プロジェクト

26.12.10

事務局：徳島大学西部サテライトオフィス(三好市井川総合支所(旧井川町役場))



# 連携体制



2

## 研究のアプローチ

地域が未来への希望をもてる事前復興まちづくりの社会的合意形成のあり方



「環境防災研究センターの取組」

**四国防災共同教育センター**

工学部  
大学施設内教育推進課  
防災・危機管理特別プログラム  
(徳川大学・徳島大学共同開催)

TOPICS

- センター長挨拶
- センター紹介
- 教員紹介

履修について

- 活動報告
- リンク
- お問い合わせ

**開設コース**

防災・危機管理特別プログラムで開設しているコースは次の3つです。

**1 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース**  
地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。

**2 救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成コース**  
被災住民の視点に立ち、災害時医療、医療機関のBCP策定、公衆衛生対策、メンタルヘルスサポート体制をコーディネートできる人材の育成を目指します。

**3 学校防災・危機管理マネージャー養成コース**  
地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画(EGP)策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を目指します。

**授業科目の構成**

防災・危機管理特別プログラムの授業科目は、次の6つの科目区分から構成されています。

行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群	救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成科目群	実務演習科目
防災・危機管理特別プログラム(各コース共通)		
学校防災・危機管理マネージャー養成科目群		

**【共通実施基礎科目】**  
各コース共通の修了要件科目で構成されています。

**1 【行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群】**  
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。

**2 【救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成科目群】**  
救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成コースの専門に応じた科目で構成されています。

**3 【学校防災・危機管理マネージャー養成科目群】**  
学校防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。

**【実務演習科目】**  
各コースにそれぞれ対応する実務演習科目で構成されています。

**開設授業科目一覧**

**【共通実施基礎科目】**

科目名称	単位数	開講学期	曜日	時間
リスクコミュニケーション	2	前期	月	18:30～20:00
危機管理論	2	前期	火	18:30～20:00
災害と防災管理・メンタルヘルスケア	2	後期	火	18:30～20:00
救急・危機管理論	1	前期	-	集中

四国防災共同教育センター

**H27年度 BCP研究部会 実施テーマ**

※プログラムの内容は、当初の予定と異なる場合があります。

第1回	4月23日(木)	【ガイダンス・ワークショップ】 ・今年度のBCP研究部会について
第2回	5月21日(木)	【ワークショップ】 ・災害対応模擬演習(初動対応から事業継続へ)
第3回	6月25日(木)	【先進事例発表・意見交換】 ・お互い様BC連携の取り組み
第4回	7月23日(木)	【BCに関する会計】 ・災害時の会計、融資制度について
第5回	8月27日(木)	【ワークショップ】 ・初動対応と災害時アクションカード
第6回	9月24日(木)	【企業訪問・意見交換】 ・徳島県内企業訪問
第7回	10月22日(木)	【先進事例発表・意見交換】 ・BCAO関西支部会員の取り組み
第8回	11月26日(木)	【先進事例発表・意見交換】 ・徳島県認定企業の取り組み
第9回	12月24日(木)	【ワークショップ】 ・リスクコミュニケーションと情報
第10回	1月21日(木)	【先進事例発表・意見交換】 ・企業連携・地域連携の取り組み
第11回	2月25日(木)	【先進事例発表・意見交換】 ・女性目線からのBCの取り組み
第12回	3月24日(木)	【ワークショップ】 ・BCについての最新動向

◆ H26年度 BCP研究部会 風景



災害対応模擬演習



ワークショップ



企業訪問



参加企業による発表

ご質問等ございましたら、環境防災研究センターまでお問い合わせください。  
TEL 088-656-8965 / FAX 088-656-8017 / E-Mail bcp@rcmode.net

BCP研究部会

「平成27年度タウンミーティング アンケート結果」

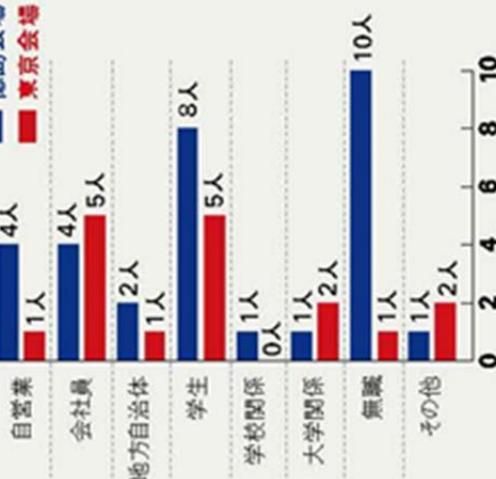
住所をお答え下さい。

(職場からお越しの場合は職場の住所)



職業をお答え下さい。

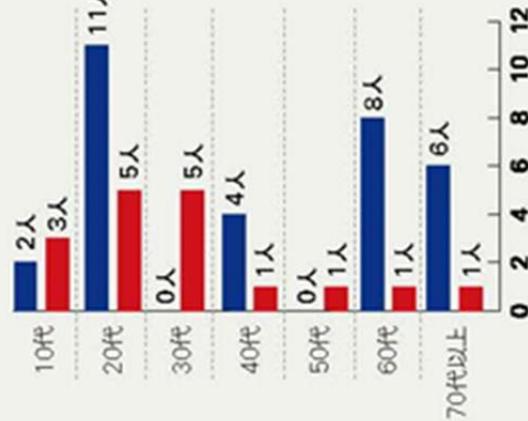
徳島会場 東京会場



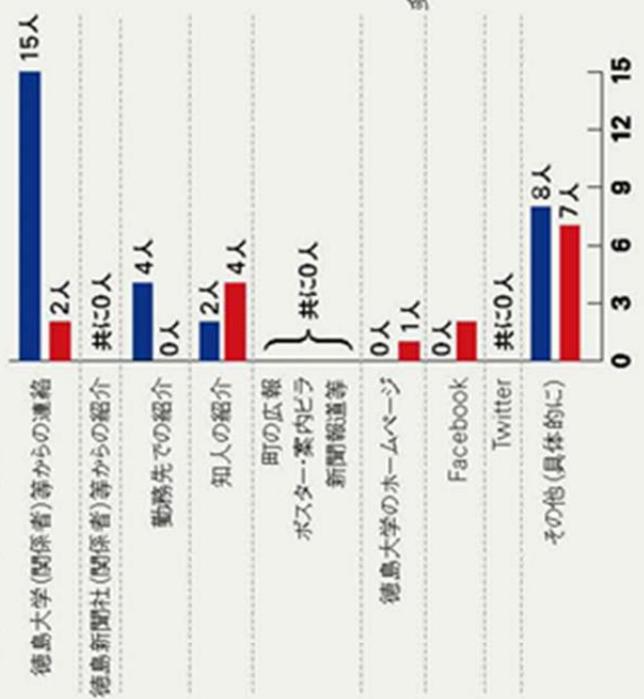
性別をお答え下さい。



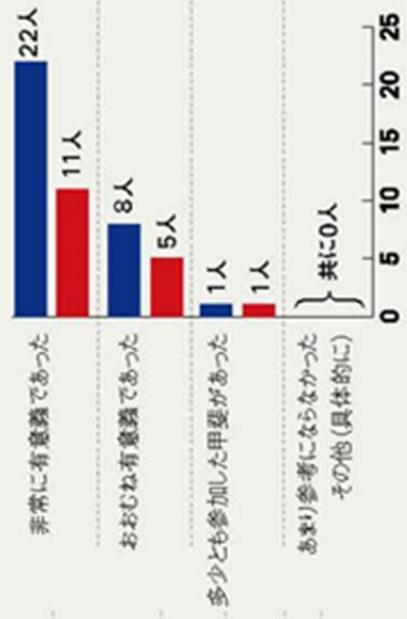
年齢をお答え下さい。



このタウンミーティングの開催をどのようにおしりになりましたか



タウンミーティングの内容は有意義なものでしたか



「平成27年度地域連携事業成果報告書」



**平成27年度 地域連携事業成果報告書**

発行：徳島大学地域連携推進室  
担当：徳島大学地域連携推進室  
〒770-8502 徳島市東三丁目1番地  
TEL: 087-831-2111 Fax: 087-831-2100  
E-mail: ch.kobun@tokushima-u.ac.jp  
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/academic/ams\_cooperation/

徳島大学は、新設教育機関100周年の記念として  
大学設置50周年記念事業、  
100周年記念事業として「100年記念事業」を、  
中心に実施する。  
\*本報告書は、徳島大学100周年記念事業の一環として  
\*著作権：徳島大学地域連携推進室・学術情報課が所有

この資料は、徳島大学の公式、非公式の複製を禁じます。

徳島大学長の挨拶

成果報告書の発刊に寄せて



徳島大学は、教育、研究、社会貢献を使命の3本柱として取り組んでいます。

平成27年度には、本学が申請校となった「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」が、文部科学省による「平成27年度地(知)の拠点大学による地域創生推進事業(COC+)」に採択されました。

本事業は、県内の高等教育機関、徳島県、経済団体、企業及びNPO法人等が一体となり、就職率向上と雇用創出が見込まれる「次世代技術関連分野(LED・自動車・ロボット等)」「地域医療・福祉関連分野」「6次産業化関連分野」「地域づくり・観光・ICT関連分野」の4分野における若者定着・雇用創出に取組、学生の地元就職率の向上を目指します。

平成27年12月15日、本プログラムに参画する徳島県及び県内の高等教育機関による連携・協力に関する協定が締結され、平成28年2月9日には、県内の高等教育機関、徳島県、経済団体、企業及びNPO法人等が参加した、「第1回とくしま元気印イノベーション人材育成協議会」が開催されました。

平成28年3月8日には、「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」キックオフシンポジウムが開催されました。

一方、平成27年9月に完成した「地域創生・国際交流会館」には、所属や立場の異なる多様な関係者が集まる未来志向のアイデアや解決手段を見つけ出す「フューチャーセンター「A.B.A.」」を開設しました。

「フューチャーセンター「A.B.A.」」は、国立大学としては初めての施設で、3Dプリンター等の最新機器を備えた、未来志向の「ものづくり」を行う「ファブラボ」、地域の高校や企業と連携し、地域の産物を利用した新たな製品作りを行う「キッチンラボ」等を設置しています。

同施設には、新設地区から「地域創生センター」を移設し、地域連携の総合窓口を置き、ワンストップで市町村や地域の方々からのご意見やご要望に対応します。

こうした取組により、地域の課題解決や再生など、これまで行ってきた地域貢献をさらに充実させてまいります。

このたび、これらの活動や各部署が実施した地域貢献に関する活動を成果報告書としてまとめました。この報告書は、本学ホームページ([http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/ams\\_cooperation/](http://www.tokushima-u.ac.jp/exchange/ams_cooperation/))でもご覧いただけます。

今後、大学における地方創生に向け取組が求められる中で、地域の課題解決やグローバル人材の養成など多彩な取組を進めるとともに、地域とのつながりをさらに強化することにより社会貢献に努めてまいりますと考えています。

徳島大学長 新川 征

目次

徳島大学長の挨拶	1
徳島大学における地域連携事業・体制の概要	2
地域連携推進室の主要事業	
■ タウンミーティング	7
平成27年度 タウンミーティング(第12回)	
まち・ことファシリテーターアップ・フォーラム「まち・こと」を開催す	
一地域におけるスモールビジネスの可能性と実践	
■ 文部科学省COC+事業 とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム	9
キックオフシンポジウム	
■ パイロット事業支援プログラム(社会貢献)採択事業	
徳島県・明治大学との連携によるモラエス顕彰事業の整備と充実	10
知的財産を活用した地域連携型創造教育手法の開発	11
徳島県内脳卒中疾患を患った神経疾患のwebカンファレンスシステムの構築(Tokushima Network)	12
糖尿病発症者に対し、実行可能な生活習慣改善支援プログラムを用いた医療経済効果の検証	13
ICTを活用した糖尿病地域医療連携におけるEHRからPIRへの展開	14
3Dプリンタの地域応用と社会イノベーション促進に向けたグローバル人材育成プログラム「ファブラボ@徳島」	15
LEDアート作品による地域貢献活動	16
南海トラフ地震に向けた地域総務戦略の構築と協働事業	17
神山学舎活性化事業	18
上勝学舎活性化事業	19
徳島大学・明治大学・徳島県連携事業	20
■ カレリア新設活動報告	21
地域連携の取組	
病院	22
大学開放実践センター	25
情報センター	26
国際センター	27
環境防災研究センター	28
地域創生センター	29
研究支援・産官学連携センター	30
農工商連携センター	31
にいわ学舎の取組状況	32
美波町地域づくりセンターの取組状況	33
徳島大学における地域連携事業一覧	34
報道記事に見る徳島大学の地域貢献事業	40

「フューチャーセンター『A.BA』パンフレット」

The diagram illustrates the ABA innovation ecosystem. At the center is a circular hub labeled 'INNOVATION'. Surrounding this hub are various interconnected nodes representing different aspects of the process: 'GLOBAL IDEAS', 'DRIVER', 'TEAMWORK', 'PROTOTYPING', 'Ecosystem', 'VISION BUSINESS', 'PEOPLE', 'LoT', 'TECHNOLOGY', 'PLANNING', 'ACCOUNTING', 'DATA', 'MARKET CONCEPTS', 'MANAGEMENT', 'CREATIVE', 'DESIGN THINKING', 'LEARNING', 'COMMUNICATION', and 'CONCEPTS'. Each node is accompanied by a small illustration of people engaged in activities like brainstorming, prototyping, or learning. A 3D rendering of the ABA building is shown at the bottom right.

それは、多創共創型オープンイノベーション、戦略的・目的設定のもと、多創社会、明るく豊かな未来をデザイン、都市の全体を研究室に昇立て、社会実践していくところから始まります。「イノベティブな発想は人とのつながりの中に生まれる」と言われます。地域の課題解決、産創創出、社会システム構築も同様です。市民協働、企業間連携、コワーキング、エコシステムなどが鍵となります。

**Future Center A.BA の役割**

出会い  
共創  
発想

地域創生へ向けた対話の場。既成概念にとらわれない発想、自由な発想…。それは多様性の尊重、そして、日常的な感覚を解き放つ異体験性、遊び、くつろぎの要素を取り入れることから始まる。

Tokushima University  
Future Center  
**A.BA**  
徳島大学フューチャーセンター【アバ】

**阿波の「あばばい」遊び場**

Future Center A.BA  
3Dイメージ  
(建築設計: 建築設計事務所 517)

**Future Center A.BA とは**

「A.BA(アバ)」は、徳島大学が設置する国立大学初のフューチャーセンターです。未来志向で持続し、変化を糧として行く“場”、従来のアプローチでは対応できない社会課題を解決するイノベーションプラットフォームとして、所属や立場の異なる多様な関係者が集まり、中長期的な目的設定のもと、新たなアイデアや解決手段を見つけ出し、実現に向けた共創、実験の場として展開します。

スペーステクノロジーを取り入れたオープンスペースに多様な仕事を配直し、柔軟なレイアウト、快適、楽しい、美しい、遊び、食、DIY、伝統、文化の要素を取り入れ、自由な発想を促す空間となっています。

Tokushima University  
Future Center  
**A.BA**  
徳島大学フューチャーセンター【アバ】

**愛称「A.BA」について**

徳島は昔、「阿波(あわ)」と呼ばれていました。また、「良い」をあらわす徳島の方言に「あばばい」という言葉があります。阿波の風、徳島で何よりも解決すべき課題は「阿波の持続と成長」であり、地域の誇りとなる強い地方創生の「場」を創り出すことが必要です。このことから、徳島大学フューチャーセンターが、「あば(阿波)のあばばい(あばばい)」を愛称として地域の「場」となることを思い、愛称を「A.BA」と命名しました。



Tokushima University  
Future Center  
**A.BA**

徳島大学フューチャーセンター【アバ】への問合せ・利用申込み  
徳島大学地域創生課社会実装課  
Tel: 088-856-9752  
e-mail: chikoukano@tokushima-u.ac.jp

FCAJ

This graphic features the ABA logo prominently in the center, surrounded by a circular arrangement of icons and text related to innovation and business. The icons include hands holding a tablet, a lightbulb, a gear, a magnifying glass, and a person. The text includes 'GLOBAL IDEAS', 'TEAMWORK', 'PEOPLE', 'BUSINESS', 'VISION', 'INNOVATE', 'CREATIVE', 'CONCEPTS', 'MANAGEMENT', 'ACCOUNTING', 'PLANNING', 'DATA', and 'COMMUNICATION'. The Tokushima University logo is also present.

Tokushima University  
Future Center  
**A.BA**  
徳島大学フューチャーセンター【アバ】

徳島大学  
TOKUSHIMA UNIVERSITY

PLANNING  
ACCOUNTING  
DATA  
CONCEPTS  
MANAGEMENT  
CREATIVE  
INNOVATE

## 「平成27年度にしあわ学舎報告書」(抜粋)

## 平成27年度にしあわ学舎 報告書

## 1. 設置の趣旨

県西部には、今まで大学として組織的な取り組みを行っていなかったため、県下24市町村との連携協定締結を契機に三好市にサテライトオフィスを設置し、県西部における地域づくりに貢献する(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町をカバー)。

## 2. 設置場所

三好市井川総合支所(旧井川町役場)3階(2部屋)

## 3. 業務内容

1. 「徳島県西部地区地域づくり連絡会議」事務局機能
2. 地方創生支援プロジェクト窓口
3. 地域に起こっている課題等の情報収集
4. 本学の地域連携の出先機関としての機能

## 4. 事業内容

事業名称を「地方創生支援プロジェクト」とし、地域づくりの根幹を支える地域住民の意識改革と人材養成を行う「人材養成プログラム」と、これをベースとして地域に内在する課題を解決し、改善策を検討する「課題解決プログラム」の2つのプログラムを立ち上げる。

## ■地方創生支援プロジェクト(図1)

「徳島県西部地区地域づくり連絡会議」を設置して、地域の課題を住民やNPO法人、自治体等から収集・分析し、各プログラムを実施する。

## (1) 人材養成プログラム

## 公開講座

大学開放実践センターが中心となり、地域ニーズを踏まえた課題をテーマとして実施する(各市町を巡回開催)。

## 人材養成講座

地域創生センターが中心となり、「ボランティア養成コース」と「地域リーダー養成コース」を設け、地域おこしの中核的人材を育成する。

### 地域人材バンク

本学が開催する公開講座、人材養成講座の修了生、志のある地域住民、NPO法人、企業職員等をテーマ別に登録し、本学や他の機関が行う各種事業を実施するための人材供給源とする。

### (2) 課題解決プログラム

自治体と地域人材バンクから選出したNPO法人、地域住民等を中心とし、本学から有識者を派遣してプログラムを実施する。

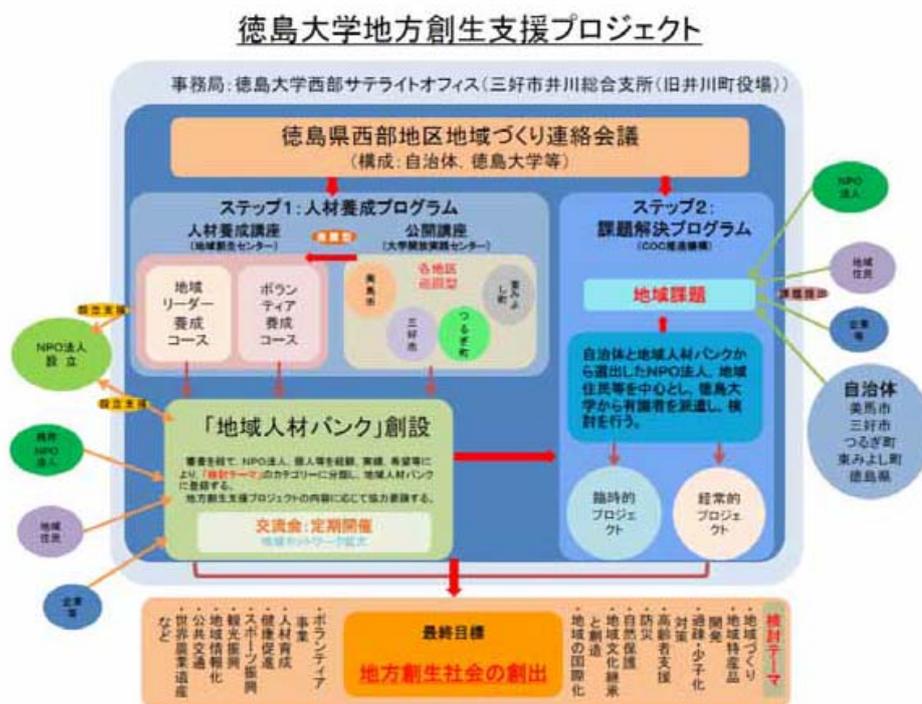


図1 徳島大学地方創生支援プロジェクト

### 5. 「徳島県西部地区地域づくり連絡会議」の設置

西部サテライトの予算、事業計画・報告、その他連絡・調整等を目的として、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、徳島県及び本学の職員を構成員として設置する(表1)。

表1 徳島県西部地区地域づくり連絡会議委員一覧 (2015年)

№	所属・職名	氏名	電話番号	メールアドレス	備考
1	美馬市企画総務部企画政策課課長	西野 佳久	0883-52-8008	kikaku@city.mima.lg.jp	
2	美馬市企画総務部企画政策課事務主任	原 健二	0883-52-8008	hara437@city.mima.lg.jp	
3	三好市企画財政部地方創生推進課課長	高原 学	0883-72-7607	m-takahara_01@city.tokushima-miyoshi.lg.jp	
4	三好市企画財政部地方創生推進課係長	井本 泰之	0883-72-7607	h-imoto_01@city.tokushima-miyoshi.lg.jp	
5	つるぎ町商工観光課長	篠原 尚志	0883-62-3114	shinohara-t@town.tokushima-tsurugi.lg.jp	
6	つるぎ町商工観光課	緒方 涼	0883-62-3114	ogata-r@town.tokushima-tsurugi.lg.jp	
7	東みよし町企画課主査	小川 和裕	0883-82-6302	kazuhiro-ogawa@town.higashimiyoshi.lg.jp	
8	東みよし町産業課課長補佐	谷 藤 哲也	0883-79-5345	tetsuya-tanifuji@town.higashimiyoshi.lg.jp	
9	徳島県政策創造部県立総合大学校本部副本部長	佐々木 満	088-612-8801	sasaki_mitsuru_1@pref.tokushima.lg.jp	
10	徳島県西部総合県民局企画振興部課長補佐	田中 博志	0883-53-2030	tanaka_hiroshi_1@pref.tokushima.lg.jp	
11	徳島大学大学開放実践センター長	馬場 祐次朗	088-656-7279	baba-y@cue.tokushima-u.ac.jp	
12	徳島大学地域創生センター長	吉田 敦也	088-656-7897	yoshida@tokushima-u.ac.jp	
13	徳島大学地域創生センター助教	磯野 巧	088-656-7684	takumi.i@tokushima-u.ac.jp	
14	徳島大学地域創生課課長	橋川 洋一郎	088-656-7015	chikacho@tokushima-u.ac.jp	
15	徳島大学地域創生課課長補佐	樋口 優	088-656-7066	chhosa@tokushima-u.ac.jp	
16	徳島大学地域創生課社会貢献係長	林 雅彦	088-656-9752	chkoukenc@tokushima-u.ac.jp	

## 6. 事業・業務成果報告

### (1) 徳島県西部地区地域づくり連絡会議の実施

平成27年度は、下記の通り、徳島県西部地区地域づくり連絡会議を1回実施した。参加者は13名（美馬市1名、三好市2名、つるぎ町1名、東つるぎ町2名、西武総合県民局1名、徳島県政策創造部1名、徳島大学5名）。

細別	概要	数量	開催日程(場所)	備考
第1回徳島県西部地区地域づくり連絡会議	(1)今後の「にしあわ学舎」関連事業について (2)各市町からの要望事項について (3)地域人材バンクの設立について (4)その他	1回	5月11日(三好市井川総合支所2階第3会議室)	

### (2) 地方創生支援プロジェクトに係るフィールドワークの実施（地域課題の抽出、地域人材の発掘）

平成27年度は、地方創生支援プロジェクトに係るフィールドワークを、下記の通り実施した。平成27年度は、にしあわ学舎開設初年度のため、地域人材バンクのデータベース構築に主眼を置き、地域課題の抽出ならびに地域人材の発掘に係るヒアリング調査・資料収集を重点的に実施した。

訪問日程	訪問場所	面談対象者
6月1日	三好市井川町辻	井川町辻の町歩きガイド1名、三好市役所文化財課職員1名、山城町民1名、井川町民1名
6月11日	つるぎ町役場	つるぎ町役場商工観光課（徳島県西部地区地域づくり連絡会議委員）1名
6月12日	東みよし町役場	東みよし町役場企画課（徳島県西部地区地域づくり連絡会議委員）1名、東みよし町役場産業課1名
6月17日	三好市役所 西部総合県民局（池田） 美馬市役所	三好市役所企画財政部地方創生推進課（徳島県西部地区地域づくり連絡会議委員）1名、美馬市役所企画総務部企画政策課（徳島県西部地区地域づくり連絡会議委員）2名、美馬市役所経済建設部1名、西部総合県民局企画振興部2名
6月25日	三好市山城総合支所 三好市三野総合支所	山城総合支所長1名、三野総合支所長1名
6月29日	三好市西祖谷総合支所 三好市東祖谷総合支所	三好市西祖谷総合支所長1名、三好市東祖谷総合支所1名、西祖谷村民2名
7月21日	美馬市脇町市民サービスセンター 美馬市美馬町市民サービスセンター 美馬市木屋平総合支所	美馬市脇町市民サービスセンター長1名、美馬市美馬町市民サービスセンター長1名、木屋平総合支所総務福祉課課長補佐1名
7月22日	つるぎ町半田支所 つるぎ町一字支所	つるぎ町半田支所総合窓口課課長1名、つるぎ町一字支所総合窓口課課長1名、つるぎ町一字支所総合支所長1名、つるぎ町役場商工観光課1名
7月30日	三好市役所	三好市役所産業観光部2名
8月7日	美馬市役所	美馬市役所経済建設部1名
8月17日	つるぎ町貞光就業センター	つるぎ町役場企画課1名、他つるぎ町役場職員
9月3日	美馬市木屋平総合支所	NPO 法人こやだいら理事長1名
9月7日	東みよし町増川小学校	増川笑楽耕代表1名
9月8日	三好市歩危マート	山口屋代表取締役1名、店主1名
9月14日	つるぎ町日浦小学校	つるぎ町日浦地域自主防災会2名、つるぎ町役場危機管理課1名
9月17日	三好市有瀬小学校	有瀬つくし会2名
10月26日	三好市太刀野山小学校	太刀野山さくらの里代表1名
11月30日	東みよし町増川小学校	そらの郷副会長1名

### （3）地方創生支援プロジェクトの窓口／地域人材バンクデータベースの構築

平成27年4月1日以降、高畑敏行氏（徳島大学地域コーディネーター）と共に、平日9時から17時15分までにしあわ学舎に駐在し、学舎訪問者対応を行った。前述した地方創生支援プロジェクトに係るフィールドワークによる面談者を含め、地域人材バンクのデータベースを構築した。

「神山学舎」の取組

徳島大学神山学舎  
徳島大学フューチャーセンターオープニングイベント

ポータルター  
トークin神山  
その1

ゲスト  
Portland's Barista Courier Coffee  
**Willam Joel Domrelsさん**  
Portland's LIFE Sampling  
瀬高 早紀子さん

**ポータルター  
ジョエルと過ごす  
神山の夜**

日時：6/14(日) 18:00～19:30  
場所：WEEK神山  
徳島県名西郡神山町下分字地野57  
定員15名

参加申込：6/12(金)17:00までに下記アドレスへ氏名/年齢/居住地/職業を記載の上、メールで申してください。応募多数の場合は抽選終了後、有志による懇親会を開催します。  
参加者は別途夕食費用をWEEK(3000-5000円程度)に支払ってください。

主催：徳島大学地域創生センター 協力：WEEK Kamiyama、NPO神山グリーンバレー、  
Web: <http://tokushima-u.ac.jp/cr/> 申込・問合せ: [cr-office@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-office@tokushima-u.ac.jp)

徳島大学 神山学舎「未来のイノベーター育成」プロジェクト

ポートランド州立大学  
スティーブ・ジョンソン博士

NPO法人グリーンバレー 理事長  
徳島大学客員教授 大南直也

**Portland × 神山**

つながりが作る学び、異質の衝突・新結合で生まれる社会イノベーション

米国オレゴン州ポートランドは人口約60万人。毎週約400人が国内外から移住するグリーン&クリエイティブシティ。全米で最も住みたい町と言われています。そのまちづくり第一世代、アクティビストのひとり、ポートランド州立大学のスティーブ・ジョンソン博士との過去3年間の神山交流。節目に、ポートランド/神山「往来学習プログラム」を提案します。学生、若者、地域住民、起業家研究者らがまちづくりを目的に行き来しイノベーターとして育っていくブリッジング(架け橋)プログラム。実現に向け、何が学び合えるのか? 地域資源活用、実地的な交流滞在企画、実施上の課題を探るワークショップを開催します。マインドある未来のイノベーターの参加を期待しています。

**12/16(水)**  
14:00～16:00  
場所：神山ハレー  
サテライトオフィス  
コンプレックス

参加費無料、通訳付き  
定員：20名(先申込)

主催：徳島大学 神山学舎 共催：地域創生センター 協力：NPO法人グリーンバレー  
詳細：<http://www.tokushima-u.ac.jp/cr/> 問い合わせ：[cr-office@tokushima-u.ac.jp](mailto:cr-office@tokushima-u.ac.jp)

「まちしごとファクトリー」関連資料

「新聞掲載記事「オープニングフォーラム」」

2015年12月27日 日曜日

徳島新聞社・徳島大学連携事業

# 田舎での起業支援

## 来月5日 オープニングフォーラム 徳島大学にしあわ学会

### 「まちしごとファクトリー」のロゴマークは、2014年4月に三好市徳田町に移住し、デザイン会社「ハシとケデザイン舎」を起業した橋本珠子さん(右)一子(左)が考案した。



今していることについて、ロゴ考案・橋本さん

ロゴ上部は「まちしごと」の頭文字「M」と、仕事をつくりだす工場の様子、田舎の山並み、ふらふらと歩く羊の姿をイメージし、下部の波線は川の流れをイメージした。「川の流れを、真のささずり、縁に囲まれた田舎での暮らし、神を信仰する文化が日常に感じられる雰囲気」に憧れ、橋本さんは移住した。

地方での起業について「地方で働きたい人は、自分のどんな部分に役立ちたいかを考えるのがいいと思う。それが決まれば仕事も生まれ出せる。その意味でも今していることを大いに誇ってほしい」と話す。橋本さんはフォーラムでもパネリストを務める。



歴史的背景がある町で移住暮らしに挑戦したビジネスを展開する橋本さん(右)と前田大田(左)が徳島大学にしあわ学会で。

### フォーラム後の展開

「まちしごとファクトリー」のロゴマークは、2014年4月に三好市徳田町に移住し、デザイン会社「ハシとケデザイン舎」を起業した橋本珠子さん(右)一子(左)が考案した。

### 勉強会・合宿重ねる実践型

「まちしごとファクトリー」のロゴマークは、2014年4月に三好市徳田町に移住し、デザイン会社「ハシとケデザイン舎」を起業した橋本珠子さん(右)一子(左)が考案した。

### お金で買えない価値がある

町に暮らすのが当たり前で、お金の価値がわからない。田舎では、お金の価値がわからない。田舎では、お金の価値がわからない。田舎では、お金の価値がわからない。

### プロジェクトの目指すもの

「まちしごとファクトリー」のロゴマークは、2014年4月に三好市徳田町に移住し、デザイン会社「ハシとケデザイン舎」を起業した橋本珠子さん(右)一子(左)が考案した。

### 地域力向上へ知恵結集

「まちしごとファクトリー」のロゴマークは、2014年4月に三好市徳田町に移住し、デザイン会社「ハシとケデザイン舎」を起業した橋本珠子さん(右)一子(左)が考案した。

### 「まちしごと」を盛りだす

日時：7月5日(日) 午後1時～5時  
場所：徳島大学にしあわ学会(三好市川口町支所内、定員100人)  
東京サテライト会場＝明金大学認可キャンパス(東京都千代田区、定員30人)

1時 開 場  
1時半 開 会  
1時50分 松本登美さんの基調講演  
2時50分 休 憩  
3時 パネルディスカッション  
4時40分 起業プログラムへの参加募集案内  
5時 終 了

### トーマツベンチャーサポート

トーマツベンチャーサポート(東京)は監査法人トーマツの社内ベンチャーとして活動している。近年、監査法人は上場直前のベンチャーサポートは前倒しで始める傾向がある。2012年12月から5年半かけ、行都道府県全てで「ベンチャーサミット」を開催したほか、自治体や地方銀行向けに起業支援の人材育成スクールを開催。これらを通じて、ベンチャーの裾野拡大がメディアへのPRと支援、資金調達などをバックアップしてきた。





「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム概要図」

平成27年度 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業～地(知)の拠点COCプラス～  
**とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム**

徳島の課題 ……人口減少・超高齢社会・若年層人口の流出・厳しい財政状況

- 徳島県で雇用創出と就職率向上が期待される4分野
- ① 次世代技術関連分野(LED・自動車・ロボット等)
  - ② 地域医療・福祉関連分野
  - ③ 6次産業化関連分野
  - ④ 地域づくり・観光・ICT関連分野

徳島の可能性

**徳島大学 教育カリキュラム改革**

- 全学生が地域志向科目を受講  
地域の文化や地域への理解・愛着
- ボランティアパスポートの普及  
課題に挑戦する元気・覇気

新教育プログラム開発担当  
コーディネイター

**人材育成**

4つの分野に対応した教育プログラムの開発

- 専門分野に必要な能力(知識・技術の向上)
- キャリア教育科目の充実
- 「徳島の将来ビジョン」「徳島で暮らすメリット」2つの確信
- 寺子屋式インターンシップの導入  
雇入意識とコミュニケーション力の育成

**参加校**

「COC + FD委員会」教育法の開発と普及

**とくしま高等教育コンソーシアム**

- e-learningによるweb配信授業の実施
- 地元で活躍するOB・OGによる合同授業
- 教育カリキュラム開発プログラムの導入



とくしま元気印  
イノベーション人材

4つの能力

- 地域文化や地域への理解・愛着
- 専門分野の知識・理解
- 明確な職業人意識とコミュニケーション力
- 課題に挑戦する元気・覇気

2つの確信

- 地域の将来に対するビジョン
- 地域で暮らすことのメリット

雇用創出

- 先端技術開拓による新領域への雇創
- 多職種・協働による医療・介護分野の新規雇用
- 6次産業化キャリアアップシステム構築によるイノベーション雇創
- ICTを活用した地域づくり、観光等の新規雇用

**数値目標 県内就職率を10%増**

とくしま元気印  
イノベーション人材育成協議会

徳島県内の35機関で事業協働体を組織

- 高等教育機関 [徳島大学・四国大学短期大学部・徳島文理大学・徳島工業短期大学・阿南工業高等専門学校]
- 徳島県 ● 8つの地元企業
- 3つのNPO法人 ● 17の関連団体

事業運営  
担当  
コーディネイター

外部評価委員会

**協働事業** 地域に対する誇りや将来ビジョンの認識

- 駅前協働キャンパス授業の開講
- 学生・父兄向け「合同就職説明会」
- 「創業支援事業」  
ビジネスコンテストなどの起業支援
- 「FD地域人材育成フェスタ」
- 県内インターンシップの拡充(30%増)と  
企業メンターへの導入
- 教育プログラム開発委員会  
(全機関参画)

協働事業  
担当  
コーディネイター

雇用創出に向けた事業

プログラムの政策的な支援と施策への反映

- 産学官金連携による4分野の雇用創出
- LED/レイ構築」の推進
- 「とくしま「健康イノベーション構想」の推進
- 「アグリサイエンスゾーン」の構築
- 「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」の推進

若者定着促進に向けた取組

- 地元就職促進・奨学金返還支援制度
- トビタテJAPAN! 地域人材コース

地域と連携した  
教育・研究活動の実施

- 「地域連携フィールドワーク講座」  
の開講

雇用創出

VS 東京  
『とくしま回帰』  
総合戦略  
(平成27年7月策定)